

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年3月30日

【発行者名】 ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.
(Mitsubishi UFJ Investor Services & Banking (Luxembourg)
S.A.)

【代表者の役職氏名】 マネージング・ディレクター 鈴木 惣太

【本店の所在の場所】 ルクセンブルグ大公国、ルクセンブルグ L - 1150、アーロン通
り 287 - 289番
(287-289, route d'Arlon, L-1150 Luxembourg, Grand Duchy of
Luxembourg)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 三浦 健
同 大西 信治

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所

【事務連絡者氏名】 弁護士 三浦 健
同 大西 信治
同 金光 由以
同 大田 友羽佳

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所

【電話番号】 03(6212)8316

【届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券に係るファンドの名称】
MUGC GSケイマン・ファンド -
GS オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド
(MUGC GS Cayman Fund -
GS Australia Hybrid Securities Fund)
- 米ドルクラス(為替ヘッジあり)受益証券
(USD Class (Hedged))

【届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券の金額】
() 当初申込期間(2018年3月19日から2018年3月27日まで)
30億米ドル(約3,263億7,000万円)
() 継続申込期間(2018年3月28日から2019年3月29日まで)
30億米ドル(約3,263億7,000万円)を上限とする。

- （注１）表示通貨について、米ドルクラス（為替ヘッジあり）受益証券については米ドル（以下「表示通貨」という場合がある。）とする。
- （注２）特段の記載がない限り、米ドルの円貨換算は、2018年１月31日現在の株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である、１米ドル＝108.79円による。以下同じ。
- （注３）本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入してある。したがって、合計の数字が一致しない場合がある。また、円貨への換算は、本書中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してある。したがって、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もある。以下同じ。

【縦覧に供する場所】

該当事項なし。

１【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出しましたので、平成30年３月２日に提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報により更新するため、本訂正届出書を提出するものです。

なお、本訂正届出書記載事項のうち外貨数字の円換算については、直近の為替レートを用いておりますので、訂正前の換算レートとは異なっております。

２【訂正の内容】

第二部 ファンド情報

第３ ファンドの経理状況

「第３ ファンドの経理状況」は以下のとおり更新されます。

- a．サブ・ファンドの直近２会計年度の日本文の財務書類は、ケイマン諸島における法令および一般に認められた会計原則に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものである（ただし、円貨換算部分を除く。）。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第５項ただし書の規定の適用によるものである。
- b．サブ・ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第１条の３第７項に規定する外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース ケイマン諸島から監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されている。
- c．サブ・ファンドの原文の財務書類は、豪ドルで表示されている。
- d．日本文の財務書類には、主要な金額について円貨換算額が併記されている。日本円への換算には、2018年１月31日現在における株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（１豪ドル＝87.79円）が使用されている。なお、千円未満の金額は四捨五入されているため、日本円に換算された金額は合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

[次へ](#)

1 財務諸表

(1) 貸借対照表

G S オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド

財政状態計算書

2017年 9月30日現在

	注記	2017年 9 月30日		2016年 9 月30日	
		(豪ドル)	(千円)	(豪ドル)	(千円)
資産					
流動資産					
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	3 (c)、 4	207,703,937	18,234,329	286,145,072	25,120,676
投資売却未収入金	2	258,521	22,696	1,360,498	119,438
申込受益証券未収入金	3 (g)、 8	1,292,437	113,463	902,390	79,221
その他の資産		15	1	490	43
現金および現金同等物	3 (d)、 12	4,131,989	362,747	4,803,373	421,688
資産合計		213,386,899	18,733,236	293,211,823	25,741,066
負債					
流動負債					
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	3 (c)、 4	760,937	66,803	2,738,157	240,383
投資購入未払金	2	1,303,000	114,390	905,229	79,470
未払投資顧問報酬	7 (a)	912,355	80,096	589,986	51,795
未払販売報酬	7 (d)	445,803	39,137	589,986	51,795
買戻受益証券未払金	3 (g)、 8	260,215	22,844	1,359,370	119,339
未払監査報酬		55,427	4,866	56,501	4,960
未払管理報酬	7 (b)	27,016	2,372	39,212	3,442
未払弁護士報酬		25,553	2,243	-	-
未払保管報酬	7 (f)	17,867	1,569	10,037	881
未払管理事務代行報酬	7 (c)	16,540	1,452	4,490	394
未払代行協会員報酬	7 (g)	16,140	1,417	46,830	4,111
未払受託報酬	7 (e)	8,588	754	5,920	520
未払名義書換事務代行報酬	7 (h)	6,724	590	5,920	520
負債合計（買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産を除く）		3,856,165	338,533	6,351,638	557,610
買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産		209,530,734	18,394,703	286,860,185	25,183,456

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

(2) 損益計算書

G S オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド

包括利益計算書

2017年 9月30日終了年度

	注記	2017年 9月30日		2016年 9月30日	
		(豪ドル)	(千円)	(豪ドル)	(千円)
収益					
受取利息	3 (b)	26,148	2,296	45,816	4,022
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債に係る実現純利得 / (損失) :					
投資		14,804,803	1,299,714	8,879,284	779,512
外国通貨契約		(9,964,348)	(874,770)	5,272,713	462,891
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債に係る未実現利得 / (損失) の純変動額 :					
投資		5,801,397	509,305	8,740,207	767,303
外国通貨契約		807,881	70,924	(1,701,142)	(149,343)
純収益		11,475,881	1,007,468	21,236,878	1,864,386
営業費用					
支払利息	3 (b)	-	-	1,212	106
投資顧問報酬	7 (a)	1,969,127	172,870	2,644,419	232,154
販売報酬	7 (d)	1,969,127	172,870	2,661,070	233,615
管理報酬	7 (b)	127,374	11,182	166,365	14,605
管理事務代行報酬	7 (c)	99,834	8,764	112,928	9,914
弁護士報酬		82,381	7,232	99,352	8,722
代行協会員報酬	7 (g)	73,842	6,483	99,166	8,706
保管報酬	7 (f)	58,605	5,145	62,071	5,449
監査報酬		49,881	4,379	63,261	5,554
名義書換事務代行報酬	7 (h)	30,380	2,667	33,055	2,902
受託報酬	7 (e)	24,614	2,161	33,055	2,902
その他の費用		3,401	299	3,407	299
営業費用合計		4,488,566	394,051	5,979,361	524,928
営業による純利益		6,987,315	613,416	15,257,517	1,339,457
財務費用 :					
参加受益者に対する分配金	3 (h)、10	11,683,367	1,025,683	17,260,085	1,515,263
営業による買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産の変動		(4,696,052)	(412,266)	(2,002,568)	(175,805)

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

ＧＳオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド
買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産変動計算書
2017年９月30日終了年度

	注記	2017年 9 月30日		2016年 9 月30日	
		(豪ドル)	(千円)	(豪ドル)	(千円)
買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産期首残高		286,860,185	25,183,456	379,206,799	33,290,565
買戻可能参加受益証券の発行による収入合計	8	45,163,388	3,964,894	44,420,177	3,899,647
買戻可能参加受益証券の買戻しによる支払合計	8	(117,796,787)	(10,341,380)	(134,764,223)	(11,830,951)
営業による買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産の変動		(4,696,052)	(412,266)	(2,002,568)	(175,805)
買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産期末残高		209,530,734	18,394,703	286,860,185	25,183,456

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

ＧＳオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド

キャッシュ・フロー計算書

2017年９月30日終了年度

	注記	2017年 9 月30日		2016年 9 月30日	
		(豪ドル)	(千円)	(豪ドル)	(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー					
営業による買戻可能参加受益証券の 受益者に帰属する純資産の変動		(4,696,052)	(412,266)	(2,002,568)	(175,805)
調整：					
現金に係る為替差益／（差損）		(264)	(23)	1,177	103
参加受益者に対する分配金	3 (h)、10	11,683,367	1,025,683	17,260,085	1,515,263
受取利息		(26,148)	(2,296)	(45,816)	(4,022)
支払利息		-	-	1,212	106
合計		6,960,903	611,098	15,214,090	1,335,645
営業資産の純（増加）／減少：					
投資売却未収入金	2	1,101,977	96,743	305,738	26,841
その他の資産		475	42	370	32
純損益を通じて公正価値で測定され る金融資産		78,441,135	6,886,347	90,089,247	7,908,935
営業負債の純増加／（減少）：					
投資購入未払金	2	397,771	34,920	(729,247)	(64,021)
未払投資顧問報酬	7 (a)	322,369	28,301	(186,224)	(16,349)
未払弁護士報酬		25,553	2,243	(28,825)	(2,531)
未払管理事務代行報酬	7 (c)	12,050	1,058	(21,785)	(1,913)
未払受託報酬	7 (e)	2,668	234	(622)	(55)
未払保管報酬	7 (f)	7,830	687	(1,999)	(175)
未払名義書換事務代行報酬	7 (h)	804	71	(622)	(55)
未払監査報酬		(1,074)	(94)	8,406	738
未払管理報酬	7 (b)	(12,196)	(1,071)	(12,888)	(1,131)
未払代行協会員報酬	7 (g)	(30,690)	(2,694)	17,722	1,556
未払販売報酬	7 (d)	(144,183)	(12,658)	(186,224)	(16,349)
純損益を通じて公正価値で測定され る金融負債		(1,977,220)	(173,580)	2,621,651	230,155
営業活動による／（に使用された） キャッシュ		85,108,172	7,471,646	107,088,788	9,401,325
利息受取額（源泉徴収税控除後）		26,148	2,296	45,816	4,022
利息支払額		-	-	(1,212)	(106)
営業活動による／（に使用された） 正味キャッシュ		85,134,320	7,473,942	107,133,392	9,405,240

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

注記	2017年 9 月30日		2016年 9 月30日	
	(豪ドル)	(千円)	(豪ドル)	(千円)
財務活動によるキャッシュ・フロー：				
買戻可能参加受益証券の発行による収入	44,773,341	3,930,652	45,150,943	3,963,801
買戻可能参加受益証券の買戻しによる支出	(118,895,942)	(10,437,875)	(135,076,300)	(11,858,348)
参加受益者に対する分配金	(11,683,367)	(1,025,683)	(17,260,085)	(1,515,263)
財務活動による / (に使用された) 正味キャッシュ	(85,805,968)	(7,532,906)	(107,185,442)	(9,409,810)
現金に係る為替差益 / (差損)	264	23	(1,177)	(103)
現金の純増加 / (減少)	(671,384)	(58,941)	(53,227)	(4,673)
現金および現金同等物期首残高	4,803,373	421,688	4,856,600	426,361
現金および現金同等物期末残高	4,131,989	362,747	4,803,373	421,688

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

ＧＳオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド

財務書類に対する注記

2017年９月30日終了年度

１．組織

ＧＳオーストラリア・ハイブリッド証券ファンド（以下「サブ・ファンド」という。）は、MUGC G Sケイマン・ファンド（以下「トラスト」という。）のサブ・ファンドである。トラストは、ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド（以下「受託会社」という。）およびルクセンブルク三菱ＵＦＪインベスターサービス銀行Ｓ．Ａ．（以下「管理会社」という。）が締結した、ケイマン諸島の信託法（2011年改訂）に基づく2010年２月10日付信託証書（補足または改訂されることがある。以下「信託証書」という。）により設定された、オープン・エンド型のアンブレラ型免税ユニット・トラストである。トラストは、ミューチュアル・ファンド法（改訂済）により規制されている。

サブ・ファンドの関連当事者であるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル（以下「GSAMI」という。）が、サブ・ファンドとの投資顧問契約（以下「投資顧問契約」という。）に従って、投資顧問を務めている。投資顧問会社は、サブ・ファンドの投資に関する日常業務の監督および監視の責任を負っている。

投資顧問会社は、いずれもゴールドマン・サックス・グループ・インク（以下「ゴールドマン・サックス」という。）の関連当事者である、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（シンガポール）ピーティーイー・リミテッド（以下「GSシンガポール」という。）（2017年４月１日付で、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（シンガポール）ピーティーイー・リミテッドは、ゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイーに代わり副投資顧問会社に任命された。）およびヤラ・ファンズ・マネジメント・リミテッド（以下「ヤラ」という。）（2017年１月14日付で、ヤラ・ファンズ・マネジメント・リミテッドは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・オーストラリア・ピーティーワイ・リミテッドに代わり副投資顧問会社に任命された。）を、副投資顧問契約および副投資顧問・参加関連会社サービス契約（以下、併せて「副投資顧問契約」という。）に従って副投資顧問会社に任命している。副投資顧問契約に基づき、GSシンガポールおよびヤラは、サブ・ファンドに対し専門家としての投資の助言を継続的に提供し、サブ・ファンドの代わりにすべての取引を実行および管理する。GSシンガポールおよびヤラは、副投資顧問契約に基づき提供するサービスの対価として報酬を受け取る。

サブ・ファンドは、以下の日に運用を開始し、受益証券クラスを設定した。

受益証券クラス	運用開始日
豪ドルクラス	2012年９月26日
円クラス（ヘッジ対象）	2012年９月26日
米ドルクラス	2012年９月26日

財務書類は、サブ・ファンドの機能通貨および表示通貨である豪ドル建てで表示されている。投資顧問会社は、この通貨が、サブ・ファンドの基本的な取引、事象および状態の経済的効果を最も正確に示すと考えている。

２．投資目的

サブ・ファンド（以下「フィーダー・ファンド」という。）の投資目的は、オーストラリア・エンハンス・インカム・ファンド（旧：ゴールドマン・サックス・オーストラリア・エンハンス・インカム・ファンド（以下「マスター・ファンド」という。））。2017年１月14日付で、ファンドはその名称をオーストラリア・エンハンス・インカム・ファンドに変更した。）を通じて、主に豪ドル建てで発行される期限付劣後債、永久劣後債、優先証券およびシニア債に対して投資を行うことにより、インカム・ゲインおよびキャピタル・ゲインからなる長期的なトータル・リターンを受益者に提供することを追求することである。これらの有価証券に関連して、期限付劣後債、永久劣後債および優先証券を「ハイブリッド証券」と総称している。このような投資目的のため、投資家は一定の特有のリスクにさらされている。サブ・ファンドが他のファンドに対して行う投資は、各投資対象ファンドの募集要項の諸条件の制約を受けている。

マスター・ファンドの投資目的は、主に、分散されたポートフォリオ（主として豪ドル建てで発行されるハイブリッド証券およびシニア債から構成される。）への資産（現金および現金同等物を除く。）の投資を追求することである。マスター・ファンドは、その他の通貨建てで発行される証券に対して投資を行うこともあれば、固定利付証券、変動利付証券またはフローティング・レート証券に対して投資を行う場合もある。

マスター・ファンドとフィーダー・ファンドの投資顧問会社は同一である。

マスター・ファンドは、全般的な投資方針の一環として、デリバティブ金融商品取引（トータル・リターン・スワップ、指数先物、差金決済契約、為替予約およびオプションが含まれるが、これらに限定されない。）を締結する場合がある。

マスター・ファンドは、一定のエクスポージャーをヘッジするために、株式指数先物、銀行手形先物、国債先物、または普通株式（主に空売り）取引を利用する場合がある。

サブ・ファンドの投資が成功する、マスター・ファンドの投資目的が達成される、またはマスター・ファンドのポートフォリオのデザイン、リスク管理およびヘッジ戦略が成功するという保証はない。

マスター・ファンドとフィーダー・ファンドの重要な会計方針は統一されている。

フィーダー・ファンドは、2017年９月30日現在、マスター・ファンドの純資産の100％を保有し、2016年９月30日現在、マスター・ファンドの純資産の97.46％を保有している。マスター・ファンドは、アイルランド籍の可変資本型有限責任投資法人（登録番号307105）である、ゴールドマン・サックス・インスティテューショナル・ファンズ・ピーエルシー（以下「法人」という。）のサブ・ファンドであり、サブ・ファンド間の責任が分離されたアンブレラ型ファンドとして設立されている。

フィーダー・ファンドは、マスター・ファンドを投資対象としている。2017年９月30日終了年度において、フィーダー・ファンドがマスター・ファンドに対して行った払込総額および買戻し総額は、それぞれ47,347,799豪ドルおよび145,224,849豪ドルであった。2017年９月30日現在、払込義務はなく、サブ・ファンドは、マスター・ファンドに対する未決済の購入に関する未払金を1,295,901豪ドルとマスター・ファンドに対する未決済の売却に関する未収金を258,521豪ドル有していた。2016年９月30日終了年度において、フィーダー・ファンドがマスター・ファンドに対して行った払込総額および買戻し総額は、それぞれ64,736,892豪ドルおよび173,367,997豪ドルであった。2016年９月30日現在、払込義務はなく、またサブ・ファンドは、マスター・ファンドに対する未決済の購入に関する未払金を902,933豪ドルとマスター・ファンドに対する未決済の売却に関する未収金を1,360,498豪ドル有していた。

フィーダー・ファンドは、マスター・ファンドの買戻可能参加受益証券を購入することにより、マスター・ファンドに対して投資を行っている。マスター・ファンドは、営業日であれば常時、当該受益証券の買戻しに応じている。

マスター・ファンドのポートフォリオの公正価値が変動し、これに応じてマスター・ファンドの公正価値が変動することにより、フィーダー・ファンドに損失が生じる可能性がある。

３．重要な会計方針の要約

(a) 財務書類

財務書類の表示の基礎

当財務書類は、国際財務報告基準（以下「ＩＦＲＳ」という。）に従って作成されている。当財務書類は、純損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債（デリバティブ商品を含む。）の再評価により修正された取得原価主義に基づき作成されている。財務書類の作成には、財務書類および添付の注記の報告金額に影響を与える可能性がある経営者による一定の見積りおよび仮定が要求される。実際の結果はこれらの見積りと異なる可能性がある。

・サブ・ファンドが早期適用した新規の基準、修正および解釈指針

サブ・ファンドが早期適用した基準、修正または解釈指針はなかった。

・2016年1月1日以後開始する会計期間から発効し、サブ・ファンドに適用されている、または適用可能であった新規の基準、修正および解釈指針

サブ・ファンドが適用している基準、修正または現行基準の解釈指針はなかった。

・公表済であるが、未発効かつサブ・ファンドが早期適用していない新規の基準、修正および解釈指針

2018年1月1日以後開始する会計期間から適用されるＩＦＲＳ第9号「金融商品」は、企業が金融資産および金融負債（一部の混合契約を含む。）を分類および測定する方法を明記している。当該基準は、国際会計基準第39号（以下「ＩＡＳ第39号」という。）の要求事項と比較して、金融資産の分類および測定のアプローチを改善し簡素化している。金融負債の分類および測定に関するＩＡＳ第39号における要求事項の大部分は変更されずに引き継がれた。当該基準は、金融資産の分類について一貫したアプローチを適用しており、それぞれ独自の分類基準を有していたＩＡＳ第39号における金融商品の区分の多くを置き換えている。経営者は、現在、ＩＦＲＳ第9号の適用がサブ・ファンドに及ぼすと見込まれる影響を評価している。

サブ・ファンドに対して重要な影響を及ぼすと見込まれる未発効のその他の基準、解釈指針または現行基準の修正はない。

(b) 投資取引、関連する投資収益および営業費用

サブ・ファンドは、その投資取引を取引日基準で計上している。実現利得および損失は先入先出法（ＦＩＦＯ）に基づいている。受取配当金および支払配当金は配当落ち日に計上され、また、受取利息および支払利息は投資の存続期間にわたり発生主義で計上される。発生時に計上される当座借越費用（該当がある場合）は、支払利息に含まれる。受取利息は、市場割引、当初発行時割引の償却およびプレミアム償却を含み、基礎となる投資の存続期間にわたり収益に計上される。受取利息および受取配当金は、源泉徴収税（課税される場合）控除前の総額ベースで包括利益計算書に認識および表示される。費用の払戻し（該当がある場合）は包括利益計算書に表示される。

営業費用および設立費用は、発生主義で認識される。

取引費用は、発生時に包括利益計算書に認識される。

サブ・ファンドは、募集および設立費用、ならびに受益証券の募集および販売に関連して生じた当初の費用および継続的な費用（印刷費、マーケティング費、弁護士報酬、申込契約およびその関連書類のレビューに関連して発生した費用、ならびにサブ・ファンド、管理会社、受託会社、投資顧問会社、グローバル販売会社および管理事務代行会社のその他の費用を含む。）も負担する予定である。サブ・ファンドの募集および設立費用（該当がある場合）は、2017年9月30日および2016年9月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

組成された企業とは、誰が企業を支配しているのかの決定に際して、議決権または類似の権利が決定的な要因とならないように設計された企業（例えば、あらゆる議決権が管理業務のみに関係しており、その関連性のある活動が契約上の取決めによって指図される場合など）である。組成された企業は、次の特徴または属性の一部または全部を有していることが多い。(a) 制限された活動、(b) 狭く十分に明確化された目的（例えば、組成された企業の資産に関連するリスクと経済価値を投資者に渡すことによる投資者への投資機会の提供など）、(c) 組成された企業が劣後的な財務的支援なしに活動資金を調達

するには不十分な資本、(d) 信用リスクまたはその他のリスクの集中(トランシェ)を生み出す、投資者への複数の契約上関連した金融商品の形での資金調達。

マスター・ファンドは、受益者の選択でプット可能な買戻可能受益証券を発行することによりその営業活動の資金を調達し、受益者に各サブ・ファンドの純資産の比例持分に対する権利を与えている。サブ・ファンドはマスター・ファンドの買戻可能受益証券を保有している。

マスター・ファンドの持分から生じる損失に対するサブ・ファンドの最大エクスポージャーは、マスター・ファンドに対する投資の公正価値総額に相当する。

サブ・ファンドがマスター・ファンドの持分を売却すると、サブ・ファンドのマスター・ファンドによるリスクはなくなる。

2017年9月30日および2016年9月30日現在、マスター・ファンドの純資産額は、それぞれ207,683,139豪ドルおよび292,385,298豪ドルであった。

(c) 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債

分類

サブ・ファンドは、すべての有価証券およびデリバティブ投資を、純損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債の区分に指定している。これらの金融資産および金融負債はトレーディング目的保有またはヘッジ目的に分類される。トレーディング目的保有の金融資産または金融負債は、主に短期間での売却または買戻しを目的として取得または引き受けられるものである。デリバティブもトレーディング目的保有またはヘッジ目的の金融資産または金融負債に分類される。

公正価値で測定されない金融資産には、ブローカーに対する一定の債権、申込受益証券未収入金および未収入金が含まれる。公正価値で測定されない金融負債には、ブローカーに対する一定の債務、買戻受益証券未払金、未払金および買戻可能参加受益証券から生じた金融負債が含まれる。

認識および認識の中止

サブ・ファンドは、金融資産および金融負債を、当該投資の契約条項の当事者となった日に認識する。金融資産および金融負債の購入および売却は、取引日基準により認識される。金融資産または金融負債の公正価値の変動から生じる利得および損失は、取引日から包括利益計算書に計上される。

投資からのキャッシュ・フローを受け取る権利が消滅した場合、またはサブ・ファンドが所有に係るリスクと経済価値のほぼすべてを移転した場合、金融資産の認識は中止される。

公正価値測定の原則

公正価値で測定される金融資産および金融負債は、IAS第39号およびIFRS第13号に従って評価される。金融資産および金融負債は、取引価格(公正価値)で当初計上され、その後、当初認識後の公正価値で測定される。公正価値で測定される金融資産または金融負債の公正価値の変動から生じる利得および損失は、発生した期間に包括利益計算書において表示される。

債権として分類される金融資産は、減損損失(存在する場合)控除後の原価で計上される。金融負債は、純損益を通じて公正価値で測定されるものを除き、原価で測定される。サブ・ファンドが発行した買戻可能受益証券から発生した金融負債は、買戻可能参加受益証券の受益者に帰属するサブ・ファンドの純資産(以下「純資産」という。)の残余金額に対する受益者の権利を示す買戻金額で計上される。

公正価値とは、測定日時点で、市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却するために受け取るであろう価格または負債を移転するために支払うであろう価格をいう。活発な市場で取引される金融資産および金融負債(公開市場で取引されているデリバティブおよび売買目的有価証券等)の公正価値は、期末日の取引終了時点の市場相場価格に基づいている。

すべての有価証券およびデリバティブの公正価値は、以下の方針に従って決定される。

(1) 債券

社債から構成される債券は、ディーラーが提供する相場に基づき、または第三者の価格決定サービスを使用して評価される。

（ ２ ）取引所に上場されている資産および負債

普通株式および短期投資で構成される取引所で取引される金融投資の公正価値は、見積将来取引費用を控除しない期末日現在の市場相場価格に基づく。

（ ３ ）短期金融市場投資

短期金融市場投資は、公正価値に近似する償却原価で評価される。

（ ４ ）集団投資スキームに対する持分

集団投資スキームを含むオープン・エンド型投資ファンドに対する投資の公正価値は、それぞれの募集要項で概説されている該当ファンドの評価方針に従い、ファンドの管理事務代行会社が提供した、公表された受益証券１口当たり純資産価格に基づく。

（ ５ ）デリバティブ

デリバティブは、基礎となる商品、指数基準金利またはこれらの要素の組み合わせからその公正価値が派生する商品である。デリバティブ商品には、店頭（ＯＴＣ）デリバティブと呼ばれる個々に交渉される契約の場合、またはデリバティブ商品が取引所に上場され取引されている場合がある。デリバティブ契約は、特定の日に特定の条件で金融商品またはコモディティを購入または売却する、あるいは想定元本または契約上の金額に基づき金利の支払いの流れまたは通貨を交換する、将来のコミットメントを含む場合がある。

デリバティブ契約は、公正価値で表示され、財政状態計算書において金融資産および金融負債として認識される。公正価値の変動により生じる利得および損失は、未実現利得／（損失）の変動の構成要素として包括利益計算書に反映される。実現利得または損失は、満期時または毎期のキャッシュ・フローの支払時に計上される。

(5 a) 為替予約

為替予約においては、サブ・ファンドは、将来期日に所定の価格で、別の通貨と引き換えに定められた量のある通貨を受け取るまたは提供することに同意している。同一の想定元本、決済日、取引相手先および純額決済権を有する為替予約の買建と売建は、通常相殺され（その結果、当該取引相手先との正味外貨ポジションはゼロになる。）、取引日に実現利得または損失が認識される。ノン・デリバブル・フォワード為替予約は外貨の受渡しを伴わず、取引相手先と現金で決済される。

為替予約の公正価値は、該当する通貨が取引される主要通貨市場の営業終了時点で影響を受ける可能性がある、想定元本、通貨および満期が同一の新規の為替予約の価格に基づいている。その結果生じるすべての未実現利得および損失は包括利益計算書に計上される。

(6) すべての有価証券およびデリバティブ

市場相場価格が第三者の価格決定サービスもしくはディーラーから入手可能でない場合、または相場が非常に不正確と考えられる場合、投資の公正価値は評価手法を使用して決定される。評価手法には、最近の市場取引の使用、実質的に同一である別の投資の最新の公正価値の参照、割引キャッシュ・フロー分析、または実際の市場取引において得られた信頼できる見積価格を提供するその他の手法が含まれる。

このような有価証券およびデリバティブは、評価者によって決定される実現可能価額で評価されなければならない。2017年9月30日および2016年9月30日終了年度における評価者は、ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー・エルエルシー（旧：ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー）であり、評価業務は投資運用部門（IMD）のコントローラーにより実施された。

投資は、一定の見積りおよび仮定の使用を要求する一般に公正妥当と認められる会計原則に従って評価される。これらの見積りおよび仮定は、入手可能な最良の情報に基づいているが、実際の結果はこれらの見積りと大きく異なることがある。

2017年9月30日および2016年9月30日終了年度において、公正価値を決定するために評価者が利用された有価証券はない。

公正価値ヒエラルキーのレベル間の振替

公正価値ヒエラルキーのレベル間で振替がある場合は、報告期間の期首に発生したものとみなされる。

(d) 現金および現金同等物

現金および現金同等物（一定額の現金に容易に換金可能で、価値変動リスクに重要性がない流動性の高い短期投資）は、定期預金および譲渡性預金を含み、公正価値に近似している償却原価で評価される。

譲渡性預金および定期預金は、短期で流動性が高く一定額の現金に容易に換金可能であり、価値変動リスクに重要性がないため、純損益を通じて公正価値で測定される金融資産から現金および現金同等物に組み替えられた。

(e) ブローカーに対する債権 / 債務

ブローカーに対する債権は、主としてサブ・ファンドの清算ブローカーおよび様々な取引相手先から受け取る現金および証拠金からなる。ブローカー / 銀行に対する債務は、主としてサブ・ファンドの清算ブローカーおよび様々な取引相手先に支払う現金および証拠金からなる。ブローカーに対する債権 / 債務残高は取得原価で評価される。ブローカーに対する債権額およびブローカーに対する債務額は、サブ・ファンドのブローカー勘定において現金で決済される金額を表している。これらの残高は、清算機関とのスワップおよび先物取引に係る担保として保有する現金およびサブ・ファンドの先物決済業者に対して現金で支払う先物取引の証拠金に関連している。

証拠金額はブローカーに対する債権 / 債務に含まれる。ブローカーに対する債権 / 債務がある場合は、2017年9月30日および2016年9月30日現在の財政状態計算書においてそれぞれ開示されている。

(f) 外貨換算

外貨建取引は、取引日現在の実勢外国為替レートで換算される。外貨建のサブ・ファンドの資産および負債は、期末日現在の実勢外国為替レートでサブ・ファンドの機能通貨に換算される。

換算により生じた外貨換算差額ならびに資産および負債の処分または決済に係る実現利得および損失は、包括利益計算書に認識される。純損益を通じて公正価値で測定される投資に関連する外貨換算利得または損失、および貨幣性項目（現金を含む。）に関連するその他のすべての外貨換算利得または損失は、包括利益計算書において投資に係る実現純利得 / （損失）または投資に係る未実現利得 / （損失）の純変動額に反映される。

(g) 買戻可能受益証券

サブ・ファンドによって発行されたすべての買戻可能参加受益証券は、買戻日現在のサブ・ファンドの純資産に対する受益者の持分に比例する価値での現金による買戻しを求める権利を受益者に付与している。IAS第32号に従って、同一の特徴を有していない買戻可能参加受益証券は、財政状態計算書において買戻金額の価値で金融負債として分類されている。サブ・ファンドは、募集要項に従って受益証券を買戻す契約上の義務がある。

(h) 買戻可能受益証券の受益者に対する支払分配金

買戻可能参加受益証券の受益者に対して提案された分配金は、正式に承認され、投資顧問会社の裁量下ではなくなった時点で包括利益計算書に認識される。サブ・ファンドのプッタブル金融商品は負債として分類されるため、分配金は包括利益計算書において財務費用として認識される。

4. 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産および金融負債

IFRS第13号の修正に基づく公正価値ヒエラルキーの3つのレベルは、以下の通りである。

レベル1 - 同一の、制限のない資産または負債について、測定日現在入手可能な活発な市場における無調整の相場価格

レベル2 - 活発でない市場における相場価格または重要なインプットが直接的もしくは間接的に観察可能な金融商品（類似する有価証券の相場価格、金利、外国為替レート、ボラティリティおよび信用スプレッドを含むがこれらに限定されない。）。これには、公正価値測定の決定における評価者の仮定を含む。

レベル3 - 重要な観察可能でないインプット（公正価値測定の決定における評価者の仮定を含む。）が必要な価格または評価

公正価値測定が全体として区分される公正価値ヒエラルキーのレベルは、当該公正価値測定が全体として重要な最も低いレベルのインプットに基づいて決定されなければならない。この目的上、インプットの重要性は、公正価値測定全体に照らして評価される。公正価値測定が観察可能でないインプットに基づく重要な調整を必要とする観察可能なインプットを使用する場合、当該測定はレベル３の測定である。公正価値測定全体にとっての特定のインプットの重要性の評価は、資産または負債に固有の要因を考慮して判断することが必要である。

2017年９月30日および2016年９月30日現在、純損益を通じて公正価値で測定される金融資産には、基礎となるファンドに対する投資が含まれており、上記の会計方針に従い公正価値で測定されている。基礎となるファンドの受益証券は、公に取引されていない。このため、投資元のファンドから請求された場合に限り買戻しが行われ、また買戻しには募集要項に定められた所定の通知期間を設けなければならない。その結果、基礎となるファンドの帳簿価額は、買戻時に最終的に実現する価値を必ずしも表していない。

基礎となるファンドに対する投資の公正価値は、主に、基礎となるファンドの管理事務代行会社からの報告による入手可能な直近の買戻価格に基づいている。投資元のファンドは、基礎となるファンドに対する持分またはその基礎となる投資の流動性、提供された純資産額の評価日および買戻に係る制約を考慮した上で、公正価値に対して修正を行う場合がある。

以下の表は、前述の３つのレベルに分析された、公正価値で認識された金融資産および金融負債を表している。

公正価値で測定される金融資産

2017年９月30日現在

2017年９月30日の公正価値測定

	レベル１ (豪ドル)	レベル２ (豪ドル)	レベル３ (豪ドル)	合計 (豪ドル)
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産				
投資ファンド	207,683,139	-	-	207,683,139
為替予約	-	20,798	-	20,798
合計	207,683,139	20,798	-	207,703,937

公正価値で測定される金融負債

2017年９月30日現在

2017年９月30日の公正価値測定

	レベル１ (豪ドル)	レベル２ (豪ドル)	レベル３ (豪ドル)	合計 (豪ドル)
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債				
為替予約	-	760,937	-	760,937
合計	-	760,937	-	760,937

公正価値で測定される金融資産

2016年 9 月30日現在

2016年 9 月30日の公正価値測定

	レベル１ (豪ドル)	レベル２ (豪ドル)	レベル３ (豪ドル)	合計 (豪ドル)
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産				
投資ファンド	284,953,988	-	-	284,953,988
為替予約	-	1,191,084	-	1,191,084
合計	284,953,988	1,191,084	-	286,145,072

公正価値で測定される金融負債

2016年 9 月30日現在

2016年 9 月30日の公正価値測定

	レベル１ (豪ドル)	レベル２ (豪ドル)	レベル３ (豪ドル)	合計 (豪ドル)
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債				
為替予約	-	2,738,157	-	2,738,157
合計	-	2,738,157	-	2,738,157

2017年 9 月30日および2016年 9 月30日終了年度において、公正価値で計上された金融資産および金融負債について、公正価値ヒエラルキーのレベル１、レベル２およびレベル３の間での振替はなかった。

公正価値で測定されていない財政状態計算書に含まれるその他の資産および負債の帳簿価額は、公正価値に近似しており、レベル２のインプットを使用して決定されている。

５．金融資産と金融負債の相殺

デリバティブ

サブ・ファンドは、契約上の権利をより明確にし、サブ・ファンドが取引相手先リスクを最小化するために有用な権利を確保するために、デリバティブ契約の相手先と国際スワップ・デリバティブ協会のマスター契約（以下「ＩＳＤＡマスター契約」という。）またはこれに類似する契約を締結する場合がある。ＩＳＤＡマスター契約は、外国為替契約を含む店頭デリバティブを規定するもので、典型的には特に、債務不履行および／または終了事象が生じた場合の担保差入条件および相殺条項を含むサブ・ファンドと取引相手先との間の双務契約である。ＩＳＤＡマスター契約の条項は、取引相手先の倒産または支払不能を含む債務不履行または類似事象が生じた場合に相殺額を一括清算すること（クローズアウト・ネットिंग）を通常認めている。

担保および証拠金の要件は、上場デリバティブと店頭デリバティブで異なっている。上場デリバティブおよび中央清算されるデリバティブ（金融先物契約、オプションおよび中央清算スワップ）については、これらの種類の金融商品を規定する契約に従って、証拠金の要件がブローカーまたは清算機関によって設定される。ブローカーは、一定の状況下で最低金額を超える証拠金を求めることができる。店頭デリバティブ（外国為替契約、オプションおよび一定のスワップ）の場合、担保条件は契約により異なる。ＩＳＤＡマスター契約に基づき取引されるデリバティブの場合、担保の要件は、通常、この契約に基づく各取引の時価を相殺し、当該金額をサブ・ファンドおよび取引相手先が現在差し入れている担保の価値と比較することにより計算される。さらに、サブ・ファンドは当初証拠金の形態で取引相手先に追加担保の差し入れを要求される場合があり、この条件の概要は店頭取引の確認書に記載されている。

財務報告目的上、サブ・ファンドの債務を担保するために差し入れられた現金担保および取引相手先から受け取った現金担保がある場合には、ブローカーに対する債権／債務として財政状態計算書上で区分して報告される。サブ・ファンドが差し入れた現金以外の担保がある場合は、投資明細表に記載される。通常、取引先からの受入担保または取引先に対する差入担保の金額は、取引の履行が求められる前に最低取引金額基準を超過していなければならない。契約上またはそれ以外の理由で、取引相手先に対するサブ・ファンドの債権金額が完全に担保されていない金額の範囲で、サブ・ファンドは、取引相手先の債務不履行による損失リスクを負担する。サブ・ファンドは、財政状態が良好であると考えられる取引相手先とのみ契約を締結し、これらの取引相手先の財政状態の安定性を監視することにより、取引相手先リスクの軽減に努めている。

さらに、資産と負債の相殺および差入担保と受入担保の相殺は、ＩＳＤＡマスター契約または類似の契約における相殺に係る契約条項に基づいている。しかし、取引相手先の債務不履行または支払不能が生じた場合、裁判所は、特定の管轄区域の破産または支払不能に関する法律に基づく相殺権の強制に対する制限または禁止により、このような権利に法的強制力がないと決定することができる。

6. 税金

ケイマン諸島において、現在、法人税、所得税、キャピタル・ゲイン税、利益税またはサブ・ファンドの利益に適用されるその他の税金はない。また、ケイマン諸島には、贈与税、遺産税または相続税もない。受託会社は、信託法(改訂済)第81条に従って、ケイマン諸島で今後制定される以下の法律、すなわち収益または資本資産、資本利得(キャピタル・ゲイン)もしくは資本増価益に対する税金(taxes or duty)、または遺産税もしくは相続税の性質の税金を課すいかなる法律も、マスター・トラストの設定日から50年間は、サブ・ファンドを構成する資産もしくはサブ・ファンドのもとで生じた収益に対して、または当該資産もしくは収益に関して受託会社もしくは受益者に対して適用されない旨の保証を求めて、ケイマン諸島の内閣長官に申請し当該保証を取得した。ただし、いずれかの期間にケイマン諸島に居住している、または住所を有している受益者(公益信託または権利の対象となる者、あるいはケイマン諸島で設立された免税または通常の非居住者である法人を除く)は、かかる保証が一切付されず、信託法の該当する項が、ケイマン諸島に居住する、または住所を有する受益者を信託法において定める税金を課す法律から免除することはないものとして、かかる期間にすべての税金を負う責任を有する。

サブ・ファンドは、ケイマン諸島以外の国々に拠点を置く事業体が発行する有価証券に対して投資している。これら国外の多くの国々には、サブ・ファンドのような非居住者にキャピタル・ゲイン税が適用される可能性があることを示す税法が存在する。これらのキャピタル・ゲイン税は、一般的に申告納税方式での算定が求められるため、サブ・ファンドのブローカーから源泉徴収方式で控除されない場合がある。

I A S第12号「法人所得税」に従って、関連する税務当局がすべての事実および状況を熟知していると仮定した場合に、外国の税法が同国を源泉とするサブ・ファンドのキャピタル・ゲインに対して税金負債の評価を求める可能性が高い場合には、サブ・ファンドは税金負債を認識する必要がある。

また、税金負債は、報告期間の末日において制定されまたは実質的に制定されている税法および税率を使用して、関連する税務当局に納付されると予想される額で算定される。制定された税法をオフショアの投資ファンドに適用する方法が不明確な場合もある。これにより、サブ・ファンドによって最終的に税金負債が支払われるか否か不確実性が生じる。このため、不確実な税金負債を測定する際に、経営者は、支払可能性に影響を及ぼしうる、その時点で入手可能なすべての事実および状況(関連する税務当局の公式または非公式の慣行を含む。)を考慮する。

2017年9月30日および2016年9月30日終了年度において、サブ・ファンドは外国のキャピタル・ゲイン税に関する不確実な税金負債ならびに関連する利息および罰金をゼロと測定した。これは経営者の最善の見積りを表しているが、依然として外国の税務当局がサブ・ファンドが獲得したキャピタル・ゲインに対する税金を徴収しようとするリスクがある。これは事前通告なく、遡及的に行われる可能性があり、サブ・ファンドに重要な損失をもたらす可能性がある。

7. 重要な契約および関連当事者

(a) 投資顧問会社および副投資顧問会社報酬

投資顧問契約の条件に基づき、投資顧問会社は、該当する四半期末の最終営業日に決定されるサブ・ファンドの平均純資産額(該当する歴四半期の申込み、買戻しおよび分配調整後)の0.80%に相当する金額を四半期報酬(毎日発生し、四半期毎に算定され、後払いされる。)として、サブ・ファンドの資産から受け取る。また、投資顧問会社の同意を条件として、受託会社は、報酬を放棄させる権利、より多額のまたは少額の報酬を課す権利、投資顧問報酬の全部または一部を投資顧問会社の関係会社を含む受益者に払い戻す権利(投資顧問会社、受託会社および該当する受益者が同意した場合)を留保している。投資顧問報酬は、2017年9月30日および2016年9月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

サブ・ファンドは、基礎となるファンドに投資を行っており、基礎となるファンドもまた、ヤラおよびＧＳシンガポールの関連当事者である副投資顧問会社に投資顧問報酬を支払っている。サブ・ファンドは、基礎となるファンドによって支払われた費用を間接的に負担している。以下の表は、基礎となるファンドの報酬率を示しており、これは以下の通りである。

基礎となるファンド	年間報酬率 (%)
オーストラリア・エンハンスド・インカム・ファンド、クラスＩＯ（Ａｃｃ） 豪ドル建受益証券	ゼロ

(b) 管理報酬

ルクセンブルク三菱ＵＦＪインベスターサービス銀行Ｓ．Ａ．（以下「ＭＩＢＬ」または「管理会社」という。）がサブ・ファンドの管理会社を務めている。

ＭＩＢＬは、ルクセンブルグ大公国において商業銀行として認可されており、金融セクター監督委員会（以下「ＣＳＳＦ」という。）によって規制される。同社は、株式会社東京銀行の過半数所有子会社として1974年4月11日にルクセンブルグで設立された有限責任会社である。

管理会社は、サブ・ファンドの平均純資産額の0.05％に相当する金額を管理報酬（毎日発生し、四半期毎に後払いされる。）として、サブ・ファンドの資産から受け取る。2017年9月30日および2016年9月30日終了年度の管理報酬は、包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

(c) 管理事務代行報酬

ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー（以下「ＢＢＨ」という。）がサブ・ファンドの管理事務代行会社である。管理事務代行会社は、サブ・ファンドの代わりに一定の日常管理業務を行う。これには、サブ・ファンドの帳簿および記録の維持、純資産額の算定ならびにサブ・ファンドの費用の支払が含まれる。

ＢＢＨへの報酬（資産に基づくもの、保管、取引、サービス提供およびその他に係る報酬を含む。）は、適宜投資顧問会社の合意を得た場合にサブ・ファンドの資産からのみ支払われる。さらに、月末時に、サブ・ファンドの有価証券は、取引種類別に区分され、報酬率が適用される。サブ・ファンドはこの報酬を毎月後払いで支払う。

月末の平均純資産に係る管理事務代行会社への年間報酬は、以下の表に基づきサブ・ファンドレベルで評価される。

資産500百万米ドルまで	3.0ベース・ポイント
資産500百万米ドル超10億米ドルまで	2.0ベース・ポイント
資産10億米ドル超	1.5ベース・ポイント

管理事務代行報酬は、豪ドルから米ドルに換算されている。

管理事務代行報酬は、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

(d) 販売報酬

グローバル販売会社は、該当する歴四半期における申込み、買戻しおよび分配を反映して調整したサブ・ファンドの平均純資産額の0.80％に相当する報酬を受け取る。当該報酬は日次で発生し、四半期毎に後払いされる。

販売報酬は、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

(e) 受託報酬

ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッドがサブ・ファンドの受託会社を務めている。受託会社は、信託宣言の条項に従って、サブ・ファンドの資産の全般的な監督責任を負っている。サブ・ファンドは、平均純資産額の0.01％に相当する金額を報酬として毎月後払いで受託会社に対して支払う。

受託報酬は、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

(f) 保管報酬

受託会社は、サブ・ファンドの資産の保管に関する責任をＢＢＨに委任している。保管会社は、制限を受けることなく、保管、現金および有価証券の預託に関する通常業務を行う。有価証券の保管に係る報酬は月毎に課される。月末時に、サブ・ファンドの有価証券は、発行地の国別に区分される。各有価証券に関して米ドル相当の公正価値が算定され、発行地の国別に報酬率が適用される。

保管報酬は、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

(g) 代行協会員報酬

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は、サブ・ファンドの日本における代行協会員を務め、サブ・ファンドの平均純資産額の0.03％を請求している。

代行協会員報酬は、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

(h) 名義書換事務代行報酬

ＢＢＨは、サブ・ファンドの名義書換事務代行会社を務めている。サブ・ファンドは、平均純資産額の0.01％に相当する金額を毎月後払いで名義書換事務代行会社に対して報酬として支払う。

名義書換事務代行報酬は、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度の包括利益計算書においてそれぞれ開示されている。

８．買戻可能参加受益証券

クラス	発行価格	初回申込最低金額
豪ドル	10豪ドル	100豪ドル
円（ヘッジ対象）	10,000円	10,000円
米ドル	10米ドル	100米ドル

受益証券は、各営業日の該当クラスの受益証券１口当たり純資産価格で販売される。

受益証券は、受益者の選択で募集要項の条件に従った通知を行うことにより買戻し可能である。受益証券は、適用される買戻日の営業終了時の該当クラスの受益証券１口当たり純資産価格で買戻される。ただし、投資顧問会社が自己の裁量で、当該買戻しに関連して発生した費用をこの金額から減額できるものとされている。

また、マスター・ファンドの受益証券も、受益者の選択で募集要項の条件に従った通知を行うことにより買戻し可能である。

2017年９月30日および2016年９月30日現在、当該サブ・ファンドの受益者は、管理会社の関連当事者である三菱ＵＦＪモルガン・スタンレーＰＢ証券株式会社およびＳＭＢＣ日興証券株式会社の２社である。

以下は、当該サブ・ファンドの受益証券の変動の要約である。

	受益証券口数		
	豪ドルクラス	円クラス (ヘッジ対象)	米ドルクラス
2015年９月30日現在残高	18,210,794	1,154,060	10,012,346
買戻可能参加受益証券の申込み	2,448,770	44,419	2,126,239
買戻可能参加受益証券の買戻し	(4,511,291)	(612,106)	(3,240,230)
2016年９月30日現在残高	16,148,273	586,373	8,898,355
買戻可能参加受益証券の申込み	2,246,158	120,877	1,405,391
買戻可能参加受益証券の買戻し	(5,373,105)	(212,637)	(5,506,633)
2017年９月30日現在残高	13,021,326	494,613	4,797,113

９．受益証券１口当たり純資産価格

発行または買戻される買戻可能参加受益証券に関する受取対価または支払対価は、取引日現在のサブ・ファンドの買戻可能参加受益証券１口当たり純資産価格に基づく。

サブ・ファンドの各発行済受益証券クラスの純資産額および受益証券１口当たり純資産価格は以下の通りである。

受益証券クラス	2017年９月30日		2016年９月30日	
	純資産額	受益証券１口当たり 純資産価格	純資産額	受益証券１口当たり 純資産価格
豪ドルクラス	117,233,899豪ドル	9.003223豪ドル	143,789,733豪ドル	8.904341豪ドル
円クラス (ヘッジ対象)	51,924,523豪ドル	9,271.023048円	68,764,149豪ドル	9,087.636656円
米ドルクラス	40,372,312豪ドル	6.593904米ドル	74,306,303豪ドル	6.390271米ドル

10．分配金

分配は投資顧問会社の選択により行われ、2017年９月30日および2016年９月30日終了年度における分配金宣言額および支払額は、包括利益計算書において開示されており、買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産が金融負債として分類されている。受益者へ分配を行うことにより、サブ・ファンドの受益証券１口当たり純資産価格は減少するが、受益者１人当たり受益証券口数に相応する変動は生じない。これにより受益者によるサブ・ファンドに対する投資総額は減少する。さらに、サブ・ファンドの営業による純利益／（損失）累計額を超過する分配金が１会計年度内に支払われた場合、分配金の一部は資本の払い戻しとなる。

11．金融投資および関連リスク

サブ・ファンドの投資活動により、マスター・ファンドが投資する金融投資および市場に関連する様々な種類のリスクにサブ・ファンドはさらされている。これらはデリバティブおよびデリバティブ以外の金融投資の両方の場合がある。サブ・ファンドの投資ポートフォリオは、期末現在において単一の基礎となるファンドおよびデリバティブ投資で構成されている。受託会社はサブ・ファンドの投資リスクを管理するために、副投資顧問会社を任命した。サブ・ファンドがさらされている重要な金融リスクの種類は市場リスク、流動性リスクおよび信用リスクである。募集要項には、これらのリスクおよびその他の種類のリスクの詳細が記載されており、当財務書類においては提供されていない情報も含まれている。

資産配分は、注記２に詳述された投資目的を達成するため、資産配分を管理するサブ・ファンドの副投資顧問会社によって決定される。投資目的の達成にはリスクを伴う。副投資顧問会社は、投資意思決定を行う際には、分析、調査およびリスク管理手法に基づき判断を行う。ベンチマークおよび／または目標とする資産配分からの乖離ならびにポートフォリオの構成は、サブ・ファンドのリスク管理方針に従って監視される。

同一の基礎となるファンドに対して複数の投資ビークルが投資を行うという状況は、投資家に一定の特有のリスクを与えている。サブ・ファンドは、同一の基礎となるファンドに対して投資を行う他の事業体の行動により、著しく影響を受ける可能性がある。例えば、基礎となるファンドの他の受益者が、持分の一部または全部を換金する場合、当該サブ・ファンドに比例配分される営業費用が増加し、その結果、リターンが減少する可能性がある。同様に、基礎となるファンドの他の受益者が換金を行うことにより、基礎となるファンドの分散度合いが低下し、その結果、ポートフォリオ・リスクが増加する可能性がある。基礎となるファンドは、一部の直接もしくは間接の投資家に係る規制上の制限またはその他の理由により、その投資活動を制限したり、一定の商品に対する投資ができない場合があり、このことが、基礎となるファンド(ひいてはサブ・ファンド)のパフォーマンスに不利な影響を及ぼす可能性がある。

サブ・ファンドに関連して採用したリスク管理方針は、以下に詳述されている。

(a) 市場リスク

サブ・ファンドの投資ポートフォリオの公正価値の変動可能性は市場リスクと呼ばれている。一般的に利用される市場リスクの種類には、通貨リスク、金利リスクおよびその他の価格リスクが含まれている。

- ・ 通貨リスクは、直物為替相場、先物為替相場および為替相場のボラティリティの変動に対するエクスポージャーから生じる可能性がある。
- ・ 金利リスクは、様々なイールドカーブの水準、傾斜および曲率の変化、金利のボラティリティ、モーゲージの期限前償還率ならびに信用スプレッドの変動に対するエクスポージャーから生じる可能性がある。
- ・ その他の価格リスクは、通貨リスクまたは金利リスクから生じる変動以外の市場価格の変動の結果として投資の価値が変動するリスクであり、個々の株式、株式バスケット、株式指数およびコモディティの価格およびボラティリティの変動に対するエクスポージャーから生じる可能性がある。

市場リスクに関する戦略は、サブ・ファンドの投資リスクおよび目標リターンによって決定される。

市場リスクは、リスク・バジェットリング方針の適用を通じて管理されている。副投資顧問会社は、リスク・バジェットリングのフレームワークを使用して、トラッキング・エラーと一般に呼ばれる適切なリスク目標を決定する。

ゴールドマン・サックスの市場リスク分析グループ(以下「IMD MRA」という。)は、副投資顧問会社が取った市場リスクを独立して監視、分析および報告する責任を負っている。IMD MRAは、感応度の測定およびトラッキング・エラーを含む市場リスクを監視するため多数のリスク測定基準を使用している。

報告日現在のサブ・ファンドの投資ポートフォリオの詳細は、投資明細表に開示されている。個々の債券、株式、集団投資スキームおよびデリバティブ投資はすべて、個別に開示されている。

() 通貨リスク

ポートフォリオの各通貨クラスは、それぞれの関係通貨に対するヘッジを追求する(以下で説明する米ドルクラスを除く)。これは、クラス・ヘッジと呼ばれる。さらに、受益者が受益者自身の法域の自国通貨以外のクラス通貨に関してヘッジを行うヘッジ対象クラスの受益証券に投資する場合、当該受益者は当該クラスの通貨が自国通貨に対して価値が下がるという重要なリスクにさらされる。

関連するクラスの通貨に対するヘッジは、必ずしも完全ではなく、各通貨クラスは、当該受益証券が発行された通貨の為替変動の影響を受ける可能性がある。

サブ・ファンドの資産は豪ドル建てであるため、米ドルクラスの価値は、本来のパフォーマンスにかかわらず、米ドル/豪ドルの為替レートに応じて変動する。

原則として、米ドルクラスを除くサブ・ファンドの各クラスは各クラスの通貨に対してヘッジされている。通貨クラスの代わりにサブ・ファンドが行ったヘッジ活動に関するヘッジ利得および損失は、それぞれの通貨クラスにのみ配分される。

サブ・ファンドは、金融投資に投資し、機能通貨以外の通貨建ての取引を行うことができる。その結果、サブ・ファンドは、サブ・ファンドの機能通貨以外の通貨建ての資産または負債部分の価値に悪影響が生じる形で、機能通貨の換算レートがその他の外国通貨に対して変動するリスクにさらされる可能性がある。機能通貨以外の通貨建ての投資が詳細にリストアップされたサブ・ファンドの投資明細表を参照のこと。2017年9月30日および2016年9月30日現在、ほぼすべての豪ドル以外の通貨建ての投資は豪ドルに対してヘッジされていた。これは、ポートフォリオ・ヘッジと呼ばれる。

投資家が、投資しているサブ・ファンドの基準通貨と異なる通貨の受益証券クラスに対して投資する場合、投資家の通貨リスクは、サブ・ファンドの通貨リスクとは異なる。

2017年9月30日および2016年9月30日現在、サブ・ファンドは重要な通貨リスク・エクスポージャーを有していなかった。

ファンドの純利益合計への影響はないものの、米ドルクラスの価値は、米ドル/豪ドルの為替レートに応じて変動する。そのため、米ドルの15%の上昇/下落は、それぞれの米ドルクラスの純資産に+/-15%の影響を与えるが、その他のクラスには影響を与えない。

2017年9月30日および2016年9月30日現在、サブ・ファンドには、ヘッジを含む純資産額の+/-5%超の通貨の集中はなかった。

通貨	通貨の集中	通貨の集中
	2017年9月30日	2016年9月30日
円	24.84%	24.12%

マスター・ファンドに関しては、2017年9月30日および2016年9月30日現在、ヘッジを含む純資産額の5%超の通貨の集中があった。

() 金利リスク

サブ・ファンドは、マスター・ファンドの投資に対する間接的なエクスポージャーを通じて、固定利付証券および社債に投資できる。特定の有価証券に関連する金利の変動により、副投資顧問会社は、契約終了時または有価証券の売却時に類似水準のリターンを確保することができなくなる可能性がある。また、現行の金利の変動または将来の予測金利の変動により、保有する有価証券の価値が増加または減少する可能性がある。一般に、金利が上昇した場合、固定利付証券の価値は下落する。通常、金利の下落はその逆の影響をもたらす。

サブ・ファンドは、マスター・ファンドの投資に対する間接的なエクスポージャーを通じて、希望する通貨建ての固定利付商品、変動利付商品またはゼロ金利商品に投資できる。

2017年9月30日および2016年9月30日現在、サブ・ファンドは重要な直接的な金利リスク・エクスポージャーを有していなかった。しかし、サブ・ファンドはマスター・ファンドの投資ポートフォリオを通じて間接的な金利エクスポージャーを有していた。

サブ・ファンドの金融資産および金融負債の金利プロファイルは以下の通りである。

2017年 9 月30日現在

	1 年以内	1 年超 5 年以内	5 年超	無利息	合計
資産					
現金および現金同等物	4,125,099	-	-	6,890	4,131,989
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融資産	-	-	-	207,703,937	207,703,937
投資売却未収入金	-	-	-	258,521	258,521
その他の資産	-	-	-	1,292,452	1,292,452
資産合計	4,125,099	-	-	209,261,800	213,386,899
負債					
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融負債	-	-	-	760,937	760,937
投資購入未払金	-	-	-	1,303,000	1,303,000
その他の負債	-	-	-	1,792,228	1,792,228
受益者に帰属する純資産を除く負 債合計	-	-	-	3,856,165	3,856,165

2016年 9 月30日現在

	1 年以内	1 年超 5 年以内	5 年超	無利息	合計
資産					
現金および現金同等物	4,803,373	-	-	-	4,803,373
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融資産	-	-	-	286,145,072	286,145,072
投資売却未収入金	-	-	-	1,360,498	1,360,498
その他の資産	-	-	-	902,880	902,880
資産合計	4,803,373	-	-	288,408,450	293,211,823
負債					
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融負債	-	-	-	2,738,157	2,738,157
投資購入未払金	-	-	-	905,229	905,229
その他の負債	-	-	-	2,708,252	2,708,252
受益者に帰属する純資産を除く負 債合計	-	-	-	6,351,638	6,351,638

マスター・ファンドの金融資産および金融負債の金利プロファイルは、以下の通りである。

2017年 9 月30日現在

	1 年以内	1 年超 5 年以内	5 年超	無利息	合計
資産					
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融資産	171,595,715	15,196,377	7,421,562	2,855,823	197,069,477
資産合計	171,595,715	15,196,377	7,421,562	2,855,823	197,069,477
負債					
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融負債	-	-	-	-	-
受益者に帰属する純資産を除く負 債合計	-	-	-	-	-

2016年 9 月30日現在

	1 年以内	1 年超 5 年以内	5 年超	無利息	合計
資産					
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融資産	240,175,793	35,068,544	6,807,513	4,139,739	286,191,589
資産合計	240,175,793	35,068,544	6,807,513	4,139,739	286,191,589
負債					
トレーディングおよび／または ヘッジ目的保有金融負債	-	-	-	-	-
受益者に帰属する純資産を除く負 債合計	-	-	-	-	-

() その他の価格リスク

その他の価格リスクは、個々の投資もしくは発行体に固有の要因、または市場で取引される金融投資に影響を与えるその他の要因によって引き起こされるかにかかわらず、通貨リスクまたは金利リスク以外から生じる市場価格の変動の結果として金融投資の価値が変動するリスクである。

サブ・ファンドの金融投資は公正価値で計上され、公正価値の変動は包括利益計算書に計上されるため、すべての市況の変動が買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産に直接的に影響を与える。

当サブ・ファンドの集団投資スキーム／ミューチュアル・ファンドに対する投資は、該当ファンドの目論見書に要約されている評価方針に従って、基礎となるファンドにより提供される純資産額に基づいている。ミューチュアル・ファンドの資産は、一般的に独立の第三者である管理事務代行会社またはその他のサービス提供者により評価されると推測されるが、ミューチュアル・ファンドの一定の有価証券またはその他の資産には、容易に確認できる市場価格がない状況がありうる。そのような状況下では、該当するミューチュアル・ファンドの管理会社が当該有価証券または商品の評価することが必要となる可能性がある。

以下のサブ・ファンドに関する分析は、基礎となるファンドの投資に対する間接的なエクスポージャーに基づき表示されている。

感応度のパーセンテージは、為替相場をより適切に反映するために当期において変更されている。

	10%の価格変動が 純資産額に与える影響		15%の価格変動が 純資産額に与える影響	
	2017年9月30日 上昇	2017年9月30日 下落	2016年9月30日 上昇	2016年9月30日 下落
銀行	3.2%	(3.2%)	5.6%	(5.6%)
保険	0.9%	(0.9%)	1.0%	(1.0%)
ホテル、モーター、旅 館およびカジノ	0.8%	(0.8%)	0.8%	(0.8%)
ファンド	0.7%	(0.7%)	-	-
金融	0.5%	(0.5%)	2.4%	(2.4%)
石油およびガス	-	-	1.2%	(1.2%)
その他	2.4%	(2.4%)	3.4%	(3.4%)
ポートフォリオ合計	8.5%	(8.5%)	14.4%	(14.4%)

() 感応度分析の限界

上記の感応度分析には以下のいくつかの限界が含まれている。

- ・当該分析は過去のデータに基づくものであり、将来の市場価格の変動、市場間の相関関係および市場の流動性水準が過去の傾向と無関係の可能性あることを考慮できない。
- ・当該分析は、明確で正確な数値というよりは相対的なリスクの見積りである。
- ・当該分析は仮説上の結果を表すものであり、予測を意図するものではない。
- ・将来の市況は過去の実績と大きく異なる可能性がある。

(b) 流動性リスク

流動性リスクとは、サブ・ファンドが、現金またはその他の金融資産の引き渡しにより決済される金融負債に関する債務の履行において困難に直面するリスクである。特に流動性が低下する可能性があるのは、担保付および/または無担保の資金調達源を確保できない場合、資産を売却できない場合、予測できない現金または担保の流出が起きた場合、取引先や主要なブローカーの条件・約款違反が起きた場合である。このような状況は、一般市場の混乱、あるいはサブ・ファンドまたは第三者に影響を与える運用上の問題など、サブ・ファンドの管理外の出来事により発生する可能性がある。また、資産の売却能力は、他の市場参加者が同時期に類似の資産を売却しようとする場合に低下する可能性がある。

サブ・ファンドの金融資産および金融負債には、店頭で取引されるデリバティブ契約に対する投資（これは、組織化された公開市場では取引されておらず、流動性が低い場合がある。）および発行規模の相当な割合を占める商品に対する投資が含まれている。その結果、サブ・ファンドは、要求に応じるため、または特定の発行体の信用力の悪化のような特定の事象に対応するために、これらの投資を公正価値に近い金額で迅速に現金化できない可能性がある。投資ポジションの強制的な現金化を行うことにより財務的損失が生じる可能性がある。

サブ・ファンドの投資には、集団投資スキームが含まれている。集団投資スキームは、サブ・ファンドの買戻制限よりも厳しい買戻制限が課されている場合がある。これは、サブ・ファンドが受益者に対して認めるよりも少ない頻度でしか買戻日を認めない場合があることを含む。

サブ・ファンドは、受益証券の申込みおよび買戻しを行っているため、募集要項の条件に従った受益者の買戻しに関連する流動性リスクにさらされている。サブ・ファンドの募集要項は日々の受益証券の申込みおよび買戻しについて規定している。

サブ・ファンドの受益証券の大量の買戻しの場合には、サブ・ファンドは買戻しのための現金を調達するために、他の望ましい方法よりも迅速に投資の現金化を要求される可能性があるが、サブ・ファンドは、通常の流動性要求を満たすのに十分な流動性投資を含めるよう管理されている。買戻しに対応するためにより多くの流動性資産が売却される場合には、これらの要因は、買戻受益証券の価値、流通している受益証券の評価およびサブ・ファンドの残りの資産の流動性に悪影響を与える可能性がある。

受託会社は、一定の状況下で買戻しを制限または一時中止する場合がある。これには、純資産額の算定が一時中止された場合、買戻しの要求に応じるためにトラストの資産の一部または全部を処分することが、受託会社の合理的な意見では受益者に不利益をもたらすと見込まれる場合、または受託会社の管理の及ばない異常な状況下にある場合を含むが、これらに限定されない。受託会社は、すべての買戻しに関して投資顧問会社と協議の上で、ＩＦＲＳによって留保が要求されていない場合でも、買戻金額から、費用、負債または偶発事象に関する金額を留保することができる。

2017年９月30日および2016年９月30日現在、負債の金額はすべて、３ヶ月以内に返済期限を迎える。

2017年９月30日現在、為替予約に係るインフロー総額およびアウトフロー総額は、それぞれ55,397,101豪ドルおよび56,137,240豪ドルであった。

2016年９月30日現在、為替予約に係るインフロー総額およびアウトフロー総額は、それぞれ223,092,758豪ドルおよび224,639,831豪ドルであった。

為替予約は通常、純額で決済される。

資金調達契約には、デリバティブ取引が含まれている。

レバレッジド・ポジションに関して利用可能な資金調達の満期または終了、レバレッジド・エクスポージャーの公正価値の変動に関する担保差入れ要求、またはサブ・ファンドの資金調達契約の担保掛目その他の条件の変更により、サブ・ファンドの流動性の利用およびレバレッジド・ポジションの維持能力に悪影響が生じる可能性があり、サブ・ファンドに重要な損失が発生する可能性がある。サブ・ファンドは、投資能力の増加、営業費用の手当または取引の決済を含む、あらゆる目的のため、借入を行うことまたはその他の形式のレバレッジ（担保付および無担保）を利用することができる。しかし、レバレッジを得るこのような契約が利用可能な保証はなく、レバレッジが利用可能だとしてもサブ・ファンドが受入可能な契約条件で利用可能な保証はない。また、景気の悪化により、資金調達コストの増加や資本市場の利用制限が生じたり、貸出人がサブ・ファンドへの貸出を延長しない決定をする可能性がある。

また、レバレッジの利用により、買戻可能参加受益証券の受益者に帰属するサブ・ファンドの純資産の公正価値のボラティリティの影響が拡大することでリスクが増加する。

サブ・ファンドの資産の市場価値の下落により、これらの資産の市場価値を担保に借入を行っている場合には、特別な悪影響が生じる可能性がある。これらの資産の市場価値の下落により、サブ・ファンドに対して貸出人（デリバティブの契約相手先を含む。）が追加担保の差入や、サブ・ファンドの最善の利益にならない場合でも資産の売却を要求する可能性がある。

(c) 信用リスク

信用リスクとは、金融投資の一方の当事者が債務を履行できないために、もう一方の当事者に財務的損失が生じるリスクである。

副投資顧問会社は、取引相手先またはサブ・ファンドの発行体との取引に関連する信用リスクを軽減する手続を採用している。取引を行う前に、副投資顧問会社またはその関連当事者は、当事者、その事業および風評の信用分析を実施することにより信用力と風評の両方を評価する。その後、承認された取引相手先または発行体の信用リスクは、継続的に監視される（必要に応じた財務書類および中間財務書類の定期的調査を含む。）。

信用損失に対するエクスポージャーを軽減するために、サブ・ファンドが締結した一部の店頭デリバティブ契約は、当該契約に基づき生じた取引の相殺を認めている（直物為替契約のみを行う取引相手先との契約を除く。）。当該相殺権により資産と負債の報告額は相殺されていないが、債務不履行事由または終了事由が生じた場合には、当該契約に基づき取引相手先とのすべての店頭取引が終了し、当該取引相手先に対する債権額と債務額は純額ベースで清算されるため、当該相殺権により、評価益が出ている単一の取引相手先との店頭取引に係る信用リスクは、評価損が出ている同一の取引相手先との店頭取引額まで軽減される。

債券は、発行体または保証会社がその債務に係る元本および利息を支払えないリスクにさらされており、また、金利感応度、発行体の信用度に関する市場の認知および一般市場の流動性などの要因による価格のボラティリティにさらされている。

サブ・ファンドは、支払不能、運営、清算または保管会社もしくは副保管会社／受託会社の債権者によるその他の法的保護（以下「支払不能」という。）に関連する多くのリスクにさらされている。これらのリスクは以下を含むがこれらに限定されない。

保管会社と副保管会社／受託会社の両方の段階において顧客の資金として取り扱われていない、保管会社または副保管会社／受託会社が保有するすべての現金（以下「顧客資金」という。）を失うこと。

保管会社または副保管会社／受託会社が、サブ・ファンドと合意した手続き（存在する場合）に従って顧客資金として取り扱うことを怠っていたすべての現金を失うこと。

適切に分離処理がされていないため保管会社と副保管会社／受託会社の両方の段階において識別されていなかった、サブ・ファンドが保有する有価証券（以下「トラスト資産」という。）または保管会社または副保管会社／受託会社が保有する顧客資金の一部または全部を失うこと。

保管会社もしくは副保管会社／受託会社による誤った口座管理を原因として、または、支払不能の管理費用を支払うための控除を含む、関連するトラスト資産ならびに／もしくは顧客資金の識別および振替のプロセスを原因として、一部または全部の資産を失うこと。

残高の振替の受領および関連する資産に対する支配の再取得が長期間遅れることにより生じる損失。

支払不能は、サブ・ファンドの投資活動に深刻な混乱を引き起こす可能性がある。状況によっては、これにより、投資顧問会社が純資産額の計算および受益証券の取引を一時的に中断する場合がある。

受託会社が保有する現金は、受託会社の現金と一緒にプールされる場合があり、受託会社が支払不能となった場合には、サブ・ファンドは、その現金に関して受託会社の一般債権者と同順位になる可能性がある。保管会社が保管する現金以外の資産は分別管理されており、プールされることはないため、支払不能となった場合でも受託会社のその他の債権者は当該資産を利用できない。また、受託会社は、一定の資産をサブ・ファンドの代わりに保管する副保管会社を任命することができる。副保管会社が破産または支払不能となった場合、それらの資産に関するサブ・ファンドの権利は、据置き、制限または縮小される可能性がある。

2017年9月30日および2016年9月30日現在ならびに同日終了年度において、受託会社は、サブ・ファンドの現金、投資またはその他の資産を保有しなかった。

2017年９月30日および2016年９月30日現在、以下の金融資産（デリバティブ金融資産、現金および現金同等物ならびにその他の債権に対する投資）が信用リスクにさらされていた。金融資産の帳簿価額は、報告日現在の取引相手先の信用リスクに対する最大エクスポージャーを最も良く反映している。

報告日現在の信用リスクに対する最大エクスポージャーは以下の通り分析できる。

金融商品の種類	2017年 9 月30日 (豪ドル)	2016年 9 月30日 (豪ドル)
現金および現金同等物	4,131,989	4,803,373
為替予約	20,798	1,191,084
投資売却未収入金	258,521	1,360,498
申込受益証券未収入金	1,292,437	902,390
その他の資産	15	490
合計	5,703,760	8,257,835

オープン・エンド型の投資会社および上場株式投資は、直接的な信用リスクにさらされていないため、上記の表に含まれていない。

サブ・ファンドは、発行体の信用リスクに対する以下のエクスポージャーにさらされている。

格付	2017年 9 月30日 (%)	2016年 9 月30日 (%)
格付なし	100.00	100.00
合計	100.00%	100.00%

マスター・ファンドは、マスター・ファンドの市場価額合計に対する割合として、発行体の信用リスクに対する以下のエクスポージャーにさらされている。

証券格付（該当がある場合）は、Ｓ＆Ｐ／ムーディーズ／フィッチのインベスター・サービスから入手したものである。

格付	2017年 9 月30日 (%)	2016年 9 月30日 (%)
A	2.07	5.07
B B B	43.61	48.87
B B	14.77	11.79
B	1.58	2.62
格付なし	37.97	31.65
合計	100.00%	100.00%

上記の表は、マスター・ファンドの投資の信用度を示している。取引相手先または発行体は、その事業体自体が投資適格であるか、または格付なしの場合は系列の事業体が投資適格であり、かつ、この格付けされた事業体から取引相手先または発行体に強力な無条件の支援があると投資顧問会社の信用リスク管理およびアドバイザリー部門が考えている。副投資顧問会社は、信用に係る方針を整備しており、信用リスクに対するエクスポージャーを継続的に監視している。

クレジット・デフォルト・スワップは、参照される有価証券または義務に係るプロテクションを受け取る権利と交換に、ある当事者が他の当事者に支払いを行う一連の流れを含む契約である。プロテクションの売り手として、サブ・ファンドは通常、信用事象が生じない場合には、スワップ期間全体を通じて支払いを受ける。さらに、サブ・ファンドがクレジット・デフォルト・スワップを通じてプロテクションを売る場合、参照債務の価値が受取プレミアムを下回る場合があるため、サブ・ファンドが損失を被る場合がある。特定の信用事象の発生時には、サブ・ファンドは信用プロテクションの売り手として、債務不履行となった参照債務の保有を要求され、現物決済された取引におけるスワップの想定元本に相当する金額を買い手に支払うことを要求される場合がある。また、サブ・ファンドは、現物決済取引における参照債務の回収可能価額控除後のスワップの想定元本に相当する金額の正味決済金額を現金または有価証券の形態で支払う場合がある。回収可能価額は、債務不履行となった有価証券または債務に透明性のある価格が設定されることを市場参加者が保証される、信用事象に係る入札プロセスを通じて設定されることがある。さらに、サブ・ファンドは、取引相手先に担保として差し入れた資産の返還を求める権利がある。サブ・ファンドがクレジット・デフォルト・スワップを有している場合、その想定元本は投資明細表に開示されている。2017年 9 月30日および2016年 9 月30日現在、クレジット・デフォルト・スワップはなかった。

2017年 9 月30日および2016年 9 月30日現在、サブ・ファンドは、買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産の 5 %を超える取引相手先または発行体の信用リスクの集中を有していなかった。

以下の表は、マスター・ファンドについて、純資産額の5%を超える集中を示している。

	2017年9月30日	2016年9月30日
集中	マスター・ファンドの純資産に対する割合(%)	
ナショナル・オーストラリア・バンク・リミテッド	9.60	10.82
マッコーリー・グループ・リミテッド	7.94	- ^
クラウン・リゾーツ・リミテッド	7.76	5.30
コモンウェルス・バンク・オブ・オーストラリア	6.54	6.05
サンコープ・メットウェイ・リミテッド	5.89	- ^
A P Tパイプラインズ・リミテッド	5.58	- ^
ウエストパック・バンキング・コーポレーション	5.32	- ^
オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド	5.28	- ^

金額が5%未満である。

(d) 追加的なリスク

() 資本リスク管理

サブ・ファンドの資本は、買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産によって表される。サブ・ファンドは、受益者の裁量による日々の申込みおよび買戻しの影響を受けるため、買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産の金額は日々著しく変動する可能性がある。資本を管理する際のサブ・ファンドの目的は、受益者にリターンを提供しその他の利害関係者に便益をもたらすために継続企業として持続するサブ・ファンドの能力を保護すること、およびサブ・ファンドの投資活動の成長を支援するための強固な資本基盤を維持することである。

() 集中リスク

サブ・ファンドは、限られた数の投資および投資テーマに投資する可能性がある。投資先の数が制限される結果、全体のパフォーマンスは、個々の投資のパフォーマンスから一層大きくプラスまたはマイナスの影響を受ける可能性がある。

() オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、情報、通信、取引処理および決済、ならびに会計システムにおける不備を原因とする損失の潜在的可能性である。サブ・ファンドのサービス提供会社は、注記7に記載されているとおり、オペレーショナル・リスクの管理を手助けする目的で統制および手続を維持している。サービス提供会社のサービス水準の調査は、副投資顧問会社によって定期的に実施される。これらの措置が100%有効であるという保証はない。

() 法律上、税務上および規制上のリスク

サブ・ファンドに対して不利な影響を及ぼす可能性のある法律上、税務上および規制上の変更がサブ・ファンドの継続期間において生じる可能性がある。

税金に関して、サブ・ファンドは、サブ・ファンドが投資している一定の管轄区においてキャピタル・ゲイン、利息および配当に対して課税される可能性がある。

税務当局による税法および規則の解釈および適用範囲は、時折、明確性や一貫性を欠くことがある。課税される可能性が高く、かつ、見積可能である税金債務は負債として計上される。ただし、税金債務の一部は不確実性にさらされており、当年度および過年度の税務ポジションに対してこれらの当局が将来行う措置、解釈または判断に基づく追加的な税金負債、利息、加算税が生じる可能性がある。また、サブ・ファンドが潜在的な税金負債を計上する義務を創設したり、または取除くように会計基準が改訂される可能性もある。したがって、現在は発生する可能性が高くない一定の潜在的な税金債務が、発生する可能性が高くなり、サブ・ファンドの将来の追加的な税金負債となり、これらの追加的な税金負債が重要となる可能性がある。上記の不確実性のために、純資産額は、サブ・ファンドに対する持分の申込み、買戻しまたは交換の場合も含め、サブ・ファンドに最終的に生じる税金負債を反映していない可能性があり、このことがその時点の投資家に不利な影響を及ぼす可能性がある。

当財務書類に開示されていない追加的なリスクの詳細は、サブ・ファンドの募集要項を参照のこと。

12．与信機関

2017年９月30日および2016年９月30日現在、ＢＢＨが保有する現金はそれぞれ6,890豪ドルおよび０豪ドルであった。

サブ・ファンド	与信機関 2017年 9 月30日	与信機関 2016年 9 月30日
G S オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド	パークレイズ・バンク・ピーエルシー ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー ナショナル・オーストラリア・バンク・リミテッド	パークレイズ・バンク・ピーエルシー ナショナル・オーストラリア・バンク・リミテッド

13．為替レート

豪ドル以外の通貨建ての投資ならびにその他の資産および負債の換算に以下の豪ドルに対する為替レートが使用された。

	2017年 9 月30日	2016年 9 月30日
円（ＪＰＹ）	88.312206	77.493044
米ドル（ＵＳＤ）	0.783500	0.765250

14．ソフト・コミッション

サブ・ファンドは、取引実行のみ、および／または取引実行と投資調査についてコミッションを支払う場合がある。2017年９月30日および2016年９月30日終了年度において、サブ・ファンドは、いかなる第三者とも上記以外のソフト・コミッション契約を締結していない。

15．偶発負債

2017年９月30日および2016年９月30日現在、偶発負債はなかった。

16．後発事象

2017年９月30日より後に、当財務書類の修正が要求される事象または当財務書類に開示が要求される事象は発生しなかった。

17．補償

サブ・ファンドは、様々な補償を含む契約を締結する可能性がある。これらの契約に基づくサブ・ファンドの最大エクスポージャーは明らかでない。しかし、サブ・ファンドには、過去においてこれらの契約に従った請求または損失はなかった。

18．財務書類の承認

受託会社は、2017年12月29日付に当財務書類を承認した。財務書類は公表後に修正してはならない。

(3) 投資有価証券明細表等

G S オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド

投資明細表

2017年9月30日現在

保有高 / 受益証券口数 (現地通貨)	銘柄	公正価値 (豪ドル)	純資産比率 (%)
投資ファンド*			
豪ドル			
1,460,295	オーストラリア・エンハンスド・インカム・ファンド、クラス I O (A c c) 豪ドル建受益証券	207,683,139	99.12
投資ファンド合計		207,683,139	99.12

クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約

満期日	通貨	買建	通貨	売建	取引相手先	未実現利得 (豪ドル)	純資産比率 (%)
29/09/2017	AUD	117,795	JPY	10,104,195	Westpac Corp	3,380	0.00
25/10/2017	AUD	111,285	JPY	9,794,691	UBS AG	225	0.00
25/10/2017	AUD	248,235	JPY	21,608,000	JP Morgan Chase & Co	3,227	0.00
25/10/2017	AUD	705,266	JPY	61,238,000	Barclays Bank PLC	10,901	0.01
29/09/2017	JPY	10,104,195	AUD	112,750	Westpac Corp	1,664	0.00
25/10/2017	JPY	61,786,256	AUD	699,180	Australia & New Zealand Banking Group Ltd	1,401	0.00
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現利得合計						20,798	0.01

満期日	通貨	買建	通貨	売建	取引相手先	未実現損失 (豪ドル)	純資産比率 (%)
25/10/2017	AUD	112,927	JPY	10,104,195	Westpac Corp	(1,642)	(0.00)
25/10/2017	JPY	14,456,000	AUD	166,121	Royal Bank of Scotland PLC	(2,207)	(0.00)
25/10/2017	JPY	1,536,716,606	AUD	17,672,550	Royal Bank of Canada	(248,056)	(0.12)
25/10/2017	JPY	1,536,716,607	AUD	17,675,437	Barclays Bank PLC	(250,942)	(0.12)
25/10/2017	JPY	1,543,496,925	AUD	17,759,464	Citibank	(258,090)	(0.12)
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現損失合計						(760,937)	(0.36)

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

投資合計	公正価値 (豪ドル)	純資産比率 (%)
投資ファンド合計	207,683,139	99.12
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現利得合計	20,798	0.01
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現損失合計	(760,937)	(0.36)
その他の資産および負債	2,587,734	1.23
買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産	209,530,734	100.00

* 系列ファンドを表している。

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

G S オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド

投資明細表

2016年9月30日現在

保有高/ 受益証券口数 (現地通貨)	銘柄	公正価値 (豪ドル)	純資産比率 (%)
投資ファンド*			
豪ドル			
2,177,382	ゴールドマン・サックス・オーストラリア・エンハンスト・インカム・ファンド 、クラスI O (A c c) 豪ドル建受益証券	284,953,988	99.34
投資ファンド合計		284,953,988	99.34

クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約

満期日	通貨	買建	通貨	売建	取引相手先	未実現利得 (豪ドル)	純資産比率 (%)
06/10/2016	AUD	351,562	JPY	27,102,000	HSBC Bank PLC	3,684	0.00
06/10/2016	AUD	366,469	JPY	28,242,000	Bank of America NA	3,958	0.00
06/10/2016	AUD	1,117,104	JPY	85,894,037	JP Morgan Chase & Co	14,580	0.01
06/10/2016	AUD	1,919,400	JPY	148,602,630	Royal Bank of Canada	11,956	0.00
06/10/2016	AUD	23,468,991	JPY	1,799,308,898	UBS AG	373,293	0.13
06/10/2016	AUD	23,796,565	JPY	1,823,822,802	State Street Bank & Trust Co	386,209	0.13
06/10/2016	AUD	24,266,484	JPY	1,859,902,355	Citibank	393,016	0.14
18/11/2016	AUD	295,303	JPY	22,600,734	UBS AG	4,388	0.00
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現利得合計						1,191,084	0.41

満期日	通貨	買建	通貨	売建	取引相手先	未実現損失 (豪ドル)	純資産比率 (%)
06/10/2016	JPY	1,924,291,574	AUD	25,228,670	Barclays Bank PLC	(528,710)	(0.18)
06/10/2016	JPY	1,924,291,574	AUD	25,229,001	JP Morgan Chase & Co	(529,041)	(0.19)
06/10/2016	JPY	1,924,291,574	AUD	25,242,239	Bank of America NA	(542,279)	(0.19)
18/11/2016	JPY	1,799,308,898	AUD	23,534,160	UBS AG	(373,573)	(0.13)
18/11/2016	JPY	1,799,308,898	AUD	23,541,929	State Street Bank & Trust Co	(381,342)	(0.13)
18/11/2016	JPY	1,799,308,900	AUD	23,543,798	Citibank	(383,212)	(0.13)
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現損失合計						(2,738,157)	(0.95)

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

投資合計	公正価値 (豪ドル)	純資産比率 (%)
投資ファンド合計	284,953,988	99.34
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現利得合計	1,191,084	0.41
クラス・ヘッジ目的で保有する為替予約に係る未実現損失合計	(2,738,157)	(0.95)
その他の資産および負債	3,453,270	1.20
買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産	286,860,185	100.00

* 系列ファンドを表している。

添付の注記は、当財務書類の不可分の一部である。

[次へ](#)

GS Australia Hybrid Securities Fund
Statements of Financial Position
As at 30 September 2017

	Notes	30-Sep-2017 AUD	30-Sep-2016 AUD
Assets Current			
Assets			
Financial assets at fair value through profit or loss	3 (c), 4	207,703,937	286,145,072
Receivable for investments sold	2	258,521	1,360,498
Receivable for Units subscribed	3 (g), 8	1,292,437	902,390
Other assets		15	490
Cash and cash equivalents	3 (d), 12	4,131,989	4,803,373
Total Assets		213,386,899	293,211,823
Liabilities			
Current Liabilities			
Financial liabilities at fair value through profit or loss	3 (c), 4	760,937	2,738,157
Payable for investments purchased	2	1,303,000	905,229
Investment management fees payable	7 (a)	912,355	589,986
Distribution fees payable	7 (d)	445,803	589,986
Payable for Units redeemed	3 (g), 8	260,215	1,359,370
Audit fees payable		55,427	56,501
Manager fees payable	7 (b)	27,016	39,212
Legal fees payable		25,553	—
Custodian service fees payable	7 (f)	17,867	10,037
Administration fees payable	7 (c)	16,540	4,490
Agent company fees payable	7 (g)	16,140	46,830
Trustee fees payable	7 (e)	8,588	5,920
Transfer agent fees payable	7 (h)	6,724	5,920
Total Liabilities (excluding Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units)		3,856,165	6,351,638
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units		209,530,734	286,860,185

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

10

GS Australia Hybrid Securities Fund
Statements of Comprehensive Income
For the Year Ended 30 September 2017

	<u>Notes</u>	<u>30-Sep-2017</u> <u>AUD</u>	<u>30-Sep-2016</u> <u>AUD</u>
Income			
Interest income	3 (b)	26,148	45,816
Net realized gain/(loss) on financial assets and financial liabilities at fair value through profit or loss on:			
Investments		14,804,803	8,879,284
Foreign currency contracts		(9,964,348)	5,272,713
Net change in unrealized gain/(loss) on financial assets and financial liabilities at fair value through profit or loss on:			
Investments		5,801,397	8,740,207
Foreign currency contracts		807,881	(1,701,142)
Net Income		<u>11,475,881</u>	<u>21,236,878</u>
Operating Expenses			
Interest expense	3 (b)	—	1,212
Investment management fees	7 (a)	1,969,127	2,644,419
Distribution fees	7 (d)	1,969,127	2,661,070
Manager fees	7 (b)	127,374	166,365
Administration fees	7 (c)	99,834	112,928
Legal fees		82,381	99,352
Agent company fees	7 (g)	73,842	99,166
Custodian service fees	7 (f)	58,605	62,071
Audit fees		49,881	63,261
Transfer agent fees	7 (h)	30,380	33,055
Trustee fees	7 (e)	24,614	33,055
Miscellaneous expense		3,401	3,407
Total Operating Expenses		<u>4,488,566</u>	<u>5,979,361</u>
Net Income from Operations		<u>6,987,315</u>	<u>15,257,517</u>
Finance Costs:			
Distributions to participating Unitholders	3 (h), 10	11,683,367	17,260,085
Change in Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units from Operations		<u>(4,696,052)</u>	<u>(2,002,568)</u>

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

11

GS Australia Hybrid Securities Fund Statements of Changes in Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units For the Year Ended 30 September 2017			
	Notes	30-Sep-2017 AUD	30-Sep-2016 AUD
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units at Beginning of Year		286,860,185	379,206,799
Total proceeds from redeemable participating Units issued	8	45,163,388	44,420,177
Total payments for redeemable participating Units redeemed	8	(117,796,787)	(134,764,223)
Change in net assets attributable to holders of redeemable participating Units from operations		(4,696,052)	(2,002,568)
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units at Year End		209,530,734	286,860,185

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

12

GS Australia Hybrid Securities Fund Statements of Cash Flows For the Year Ended 30 September 2017			
	Notes	30-Sep-2017 AUD	30-Sep-2016 AUD
Cash Flows From Operating Activities			
Change in net assets attributable to holders of redeemable participating Units from operations		(4,696,052)	(2,002,568)
Adjustment for:			
Exchange gains/(losses) on cash		(264)	1,177
Distributions to participating Unitholders	3 (h), 10	11,683,367	17,260,085
Interest income		(26,148)	(45,816)
Interest expense		—	1,212
Total		6,960,903	15,214,090
Net (Increase)/Decrease in Operating Assets:			
Receivable for investments sold	2	1,101,977	305,738
Other assets		475	370
Financial assets at fair value through profit or loss		78,441,135	90,089,247
Net Increase/(Decrease) in Operating Liabilities:			
Payable for investments purchased	2	397,771	(729,247)
Investment management fees payable	7 (a)	322,369	(186,224)
Legal fees payable		25,553	(28,825)
Administration fees payable	7 (c)	12,050	(21,785)
Trustee fees payable	7 (e)	2,668	(622)
Custodian service fees payable	7 (f)	7,830	(1,999)
Transfer agent fees payable	7 (h)	804	(622)
Audit fees payable		(1,074)	8,406
Manager fees payable	7 (b)	(12,196)	(12,888)
Agent company fees payable	7 (g)	(30,690)	17,722
Distribution fees payable	7 (d)	(144,183)	(186,224)
Financial liabilities at fair value through profit or loss		(1,977,220)	2,621,651
Cash Provided by/(Used in) Operating Activities		85,108,172	107,088,788
Interest received (net of withholding tax)		26,148	45,816
Interest paid		—	(1,212)
Net Cash Provided by/(Used in) Operating Activities		85,134,320	107,133,392
Cash Flows From Financing Activities:			
Proceeds received from redeemable participating Units issued		44,773,341	45,150,943
Payments for redeemable participating Units redeemed		(118,895,942)	(135,076,300)
Distributions to participating Unitholders		(11,683,367)	(17,260,085)
Net Cash Provided by/(Used in) Financing Activities		(85,805,968)	(107,185,442)
Exchange gains/(losses) on cash		264	(1,177)
Net increase/(decrease) in cash		(671,384)	(53,227)
Cash and cash equivalents at Beginning of Year		4,803,373	4,856,600
Cash and cash equivalents at End of Year		4,131,989	4,803,373

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

13

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

1. Organization

GS Australia Hybrid Securities Fund (the "Sub-Trust") is a sub-trust of the MUGC GS Cayman Fund (the "Trust"). The Trust is an open-ended exempted umbrella unit trust established by a trust deed under the Trusts Law (2011 Revision) of the Cayman Islands dated 10 February 2010 (as supplemented or amended from time to time, the "Trust Deed") executed by Brown Brothers Harriman Trust Company (Cayman) Limited (the "Trustee") and Mitsubishi UFJ Investor Services & Banking (Luxembourg) S.A. (the "Manager"). The Trust is regulated under the Mutual Funds Law (Revised).

Goldman Sachs Asset Management International ("GSAMI"), a related party to the Sub-Trust, serves as Investment Manager pursuant to an investment management agreement ("Management Agreement") with the Sub-Trust. The Investment Manager is responsible for overseeing and monitoring the day-to-day operations of the Sub-Trust's affairs regarding their investments.

The Investment Manager has appointed Goldman Sachs Asset Management (Singapore) Pte. Ltd. ("GS Singapore") (Effective on 1 April 2017, Goldman Sachs Asset Management (Singapore) Pte. Ltd. had been appointed as the Investment Advisor to replace Goldman Sachs (Singapore) Pte.) and Yarra Funds Management Limited ("Yarra") (Effective on 14 January 2017, Yarra Funds Management Limited had been appointed as the Investment Advisor to replace Goldman Sachs Asset Management Australia Pty Ltd.), each a related party of the Goldman Sachs Group, Inc. ("Goldman Sachs") as Investment Advisors pursuant to a Master Intercompany Sub-Advisory Agreement and a Master Intercompany Sub-Advisory and Participating Affiliate Services Agreement, respectively (collectively, the "Investment Advisory Agreements"). Under the Investment Advisory Agreements, GS Singapore and Yarra provide the Sub-Trust with continuous professional investment advice, and effects and manages all transactions on behalf of the Sub-Trust. As compensation for services rendered under the Investment Advisory Agreements, GS Singapore and Yarra receive a fee.

The Sub-Trust commenced operations and launched Unit classes on the following dates:

Class of Units	Commencement Dates
Class AUD	26 September 2012
Class JPY (Hedged)	26 September 2012
Class USD	26 September 2012

The financial statements are presented in AUD ("Australian Dollar"), the Sub-Trust's functional and presentation currency. The Investment Manager considers that this currency most accurately represents the economic effects of the underlying transactions, events and conditions of the Sub-Trust.

2. Investment Objective

The investment objective of the Sub-Trust, (the "Feeder Fund") is to seek to provide Unitholders with a long-term total return consisting of income and capital gains primarily by investing in subordinated term debt securities, perpetual subordinated debt securities, preferred securities and senior debt securities issued in Australian Dollars through investment into the Australia Enhanced Income Fund II (Formerly, Goldman Sachs Australia Enhanced Income Fund II, the "Master Fund". Effective on 14 January 2017, the Fund changed its name to Australia Enhanced Income Fund II). In relation to such securities, subordinated term debt securities, perpetual subordinated debt securities and preferred securities are collectively referred to as "Hybrid Securities". Due to this investment objective, investors are subject to certain unique risks. The Sub-Trust's investments in other funds are subject to the terms and conditions of the respective investee fund's Offering Memorandum.

The investment objective of the Master Fund is to seek to primarily invest its assets (excluding cash and cash equivalents) in a diversified portfolio consisting mainly of Hybrid Securities and senior debt securities issued in Australian Dollars. The Master Fund may invest in securities issued in other currencies, and also may invest in fixed, variable or floating rates securities.

The Investment Managers of the Master Fund and the Feeder Fund are the same.

The Master Fund may engage in transactions in financial derivative instruments as part of its general investment policy, including without limitation, total return swaps, index futures, contracts for differences, forward foreign currency contracts and options.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

2. Investment Objective (continued)

The Master Fund may utilize transactions in equity index futures, bank bill futures, government bond futures, or common stocks, primarily by short selling, in order to hedge certain exposures.

There can be no assurance that the Sub-Trust's investments will be successful or that the investment objective of the Master Fund will be achieved or that its portfolio design, risk monitoring and hedging strategies will be successful.

The significant accounting policies of the Master Fund and the Feeder Fund are consistent.

The Feeder Fund holds 100% of the Master Fund's net assets at 30 September 2017 and 97.46% of the Master Fund's net assets at 30 September 2016. The Master Fund is a sub-fund of Goldman Sachs Institutional Funds plc (the "Company"), an investment company with variable capital incorporated with limited liability in Ireland with registered number 307105 and established as an umbrella fund with segregated liability between sub-funds.

The Feeder Fund invests into the Master Fund. Total subscriptions and redemptions made by the Feeder Fund into the Master Fund during the year ended 30 September 2017 were AUD 47,347,799 and AUD 145,224,849, respectively. As at 30 September 2017, there were no capital commitment obligations and the Sub-Trust had AUD 1,295,901 due to the Master Fund for unsettled purchases and AUD 258,521 due from the Master Fund for unsettled sales. Total subscriptions and redemptions made by the Feeder Fund into the Master Fund during the year ended 30 September 2016 were AUD 64,736,892 and AUD 173,367,997, respectively. As at 30 September 2016, there were no capital commitment obligations and the Sub-Trust had AUD 902,933 due to the Master Fund for unsettled purchases and AUD 1,360,498 due from the Master Fund for unsettled sales.

The Feeder Fund invests into the Master Fund by purchasing the Master Fund's redeemable participating shares. The Master Fund allows redemptions of these shares on any business day.

Movements in the fair value of the Master Fund's portfolio and corresponding movements in the fair value of the Master Fund may expose the Feeder Fund to a loss.

3. Summary of Significant Accounting Policies**(a) Financial Statements***Basis of Preparation of Financial Statements*

The preparation of the financial statements is in accordance with International Financial Reporting Standards ("IFRS"). The financial statements have been prepared under the historical cost convention as modified by the revaluation of financial assets and liabilities (including derivative instruments) at fair value through profit or loss. The preparation of the financial statements requires management to make certain estimates and assumptions that may affect the amounts reported in the financial statements and accompanying notes. Actual results may differ from those estimates.

i. New standards, amendments and interpretations early adopted by the Sub-Trust

There were no standards, amendments or interpretations early adopted by the Sub-Trust.

ii. New standards, amendments and interpretations effective for annual periods beginning on or after 1 January 2016 and were effective or applicable to the Sub-Trust

There were no standards, amendments or interpretations to existing standards that have been adopted by the Sub-Trust.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

3. Summary of Significant Accounting Policies (continued)

(a) Financial Statements (continued)

Basis of Preparation of Financial Statements (continued)

iii. New standards, amendments and interpretations issued but are not yet effective and have not been early adopted by the Sub-Trust

IFRS 9, 'Financial Instruments', effective for annual periods beginning on or after 1 January 2018, specifies how an entity should classify and measure financial assets and liabilities, including some hybrid contracts. The standard improves and simplifies the approach for classification and measurement of financial assets compared with the requirements of International Accounting Standards 39 ("IAS 39"). Most of the requirements in IAS 39 for classification and measurement of financial liabilities were carried forward unchanged. The standard applies a consistent approach to classifying financial assets and replaces the numerous categories of financial assets in IAS 39, each of which had its own classification criteria. Management is currently assessing the impact that the adoption of IFRS 9 would have on the Sub-Trust.

There are no other standards, interpretations or amendments to existing standards that are not yet effective that would be expected to have a significant impact on the Sub-Trust.

(b) Investment Transactions, Related Investment Income and Operating Expenses

The Sub-Trust records its investment transactions on a trade date basis. Realized gains and losses are based on the First In First Out ("FIFO") method. Dividend income and dividend expense are recorded on the ex-dividend date and interest income and interest expense are accrued over the life of the investment. Overdraft expenses which are accrued as incurred, if any, are included in interest expense. Interest income includes accretion of market discount, original issue discounts and amortization of premiums and is recorded into income over the life of the underlying investment. Interest income and dividend income are recognized and presented on a gross basis before withholding tax, if any, in the Statements of Comprehensive Income. Reimbursement of expenses is represented in the Statements of Comprehensive Income, if any.

Operating and organizational expenses are recognized on an accrual basis.

Transaction costs, when incurred, are recognized in the Statements of Comprehensive Income.

The Sub-Trust will also bear its offering and organizational expenses and the initial and ongoing expenses incurred in connection with the offer and sale of Units, including printing costs, marketing costs, legal fees, expenses incurred in connection with the review of subscription agreements and related documentation and other expenses of the Sub-Trust, the Manager, the Trustee, the Investment Manager, the Global Distributor and the Administrator. The offering and organizational expenses of the Sub-Trust, if any, are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

A structured entity is an entity that has been designed so that voting or similar rights are not the dominant factor in deciding who controls the entity, such as when any voting rights relate to administrative tasks only and the relevant activities are directed by means of contractual arrangements. A structured entity often has some or all of the following features or attributes: (a) restricted activities, (b) a narrow and well-defined objective, such as to provide investment opportunities for investors by passing on risks and rewards associated with the assets of the structured entity to investors, (c) insufficient equity to permit the structured entity to finance its activities without subordinated financial support and (d) financing in the form of multiple contractually linked instruments to investors that create concentrations of credit or other risks (tranches).

The Master Fund finances their operations by issuing redeemable shares which are puttable at the holder's option and entitles the holder to a proportional stake in the respective Sub-Trust's net assets. The Sub-Trust holds redeemable shares in its Master Fund.

The Sub-Trust's maximum exposure to loss from its interests in the Master Fund is equal to the total fair value of its investments in the Master Fund.

Once the Sub-Trust has disposed of its shares in the Master Fund the Sub-Trust ceases to be exposed to any risk from that Master Fund.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

3. Summary of Significant Accounting Policies (continued)**(b) Investment Transactions, Related Investment Income and Operating Expenses (continued)**

As at 30 September 2017 and 30 September 2016, the net asset value of the Master Fund was AUD 207,683,139 and AUD 292,385,298, respectively.

(c) Financial Assets and Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss*i Classification*

The Sub-Trust has designated all its securities and derivative investments as financial assets and financial liabilities at fair value through profit or loss category. These financial assets and financial liabilities are classified as held for trading or hedging purposes. Financial assets or financial liabilities held for trading are those acquired or incurred principally for the purpose of selling or repurchasing in the short term. Derivatives are also categorized as financial assets or financial liabilities held for trading or hedging purposes.

Financial assets that are not at fair value include certain balances due from brokers, receivables for Units subscribed and accounts receivable. Financial liabilities that are not at fair value include certain balances due to brokers, payable for Units redeemed, accounts payable and financial liabilities arising on redeemable participating Units.

ii Recognition and Derecognition

The Sub-Trust recognizes financial assets and financial liabilities on the date it becomes party to the contractual provisions of the investment. Purchases and sales of financial assets and financial liabilities are recognized using trade date accounting. From trade date, any gains and losses arising from changes in fair value of the financial assets or financial liabilities are recorded in the Statements of Comprehensive Income.

Financial assets are derecognized when the rights to receive cash flows from the investments have expired or the Sub-Trust has transferred substantially all risks and rewards of ownership.

iii Fair Value Measurement Principles

Financial assets and financial liabilities at fair value are valued in accordance with IAS 39 and IFRS 13. Financial assets and liabilities are initially recorded at their transaction (fair value) price and then measured at fair value subsequent to initial recognition. Gains and losses arising from changes in the fair value of the financial assets or financial liabilities at fair value are presented in the Statements of Comprehensive Income in the period in which they arise.

Financial assets classified as receivables are carried at cost less impairment, if any. Financial liabilities, other than those at fair value through profit or loss, are measured at cost. Financial liabilities arising from redeemable Units issued by the Sub-Trust are carried at the redemption amount representing the Unitholders' right to a residual amount of the Sub-Trust's Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units ("Net Assets").

Fair value is the price that would be received to sell an asset or paid to transfer a liability in an orderly transaction between market participants at the measurement date. The fair value of financial assets and liabilities traded in active markets (such as publicly traded derivatives and trading securities) are based on quoted market prices at the close of trading on the year end date.

The fair value of all securities and derivatives is determined according to the following policies.

(iii1) Debt Securities

Debt securities, comprising corporate debt, are valued on the basis of dealer supplied quotations or by using a third party pricing service.

(iii2) Exchange Listed Assets and Liabilities

The fair value of exchange traded financial investments, comprising common stock and short-term investments, is based upon quoted market prices at the year end date without any deduction for estimated future transaction costs.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

3. Summary of Significant Accounting Policies (continued)

(c) Financial Assets and Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss (continued)

iii Fair Value Measurement Principles (continued)

(iii3) Money Market Investments

Money market investments are valued at amortized cost, which approximates fair value.

(iii4) Shares in Collective Investment Schemes

The fair value of investments in open-ended investment funds, including collective investment schemes, is based upon the official published Net Asset Value ("NAV") per share as supplied by the administrative agent of the funds in accordance with valuation policy of applicable funds as outlined in the respective Offering Memorandum.

(iii5) Derivatives

A derivative is an instrument whose fair value is derived from an underlying instrument, index reference rate or a combination of these factors. Derivative instruments may be privately negotiated contracts which are often referred to as over the counter ("OTC") derivatives or they may be listed and traded on an exchange. Derivative contracts may involve future commitments to purchase or sell financial instruments or commodities at specified terms on a specified date, or to exchange interest payment streams or currencies based on a notional or contractual amount.

Derivative contracts are stated at fair value and recognized as financial assets and financial liabilities on the Statements of Financial Position. Gains and losses resulting from the change in the fair value are reflected on the Statements of Comprehensive Income as a component of change in unrealized gain/(loss). Realized gains or losses are recorded on termination or from periodic cash flow payments.

(iii5a) Forward Foreign Currency Contracts

In a forward foreign currency contract, the Sub-Trust agrees to receive or deliver a fixed quantity of one currency for another, at a pre-determined price at a future date. Purchases and sales of forward foreign currency contracts having the same notional value, settlement date, counterparty and right to settle net are generally offset (which result in a net foreign currency position of zero with the counterparty) and any realized gains or losses are recognized on trade date. Non-deliverable forward foreign currency exchange contracts are settled with the counterparty in cash without the delivery of foreign currency.

The fair value of forward foreign currency contracts is based on the price at which a new forward foreign currency contract of the same notional value, currency and maturity could be affected at the close of business in the principal currency markets in which these currencies are traded. Any resulting unrealized gains and losses are recorded in the Statements of Comprehensive Income.

(iii6) All Securities and Derivatives

If a quoted market price is not available from a third party pricing service or a dealer, or a quotation is believed to be materially inaccurate, the fair value of the investment is determined by using valuation techniques. Valuation techniques include the use of recent market transactions, reference to the current fair value of another investment that is substantially the same, discounted cash flow analyses or any other techniques that provides a reliable estimate of prices obtained in actual market transactions.

Such securities and derivatives shall be valued at their probable realization value as determined by a Valuer. The Valuer during the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016 was Goldman Sachs & Co. LLC (formerly known as "Goldman, Sachs & Co.") and the valuation function was performed by the Investment Management Division (IMD) Controllers.

The investments have been valued in accordance with generally accepted accounting principles that require the use of certain estimates and assumptions. Although these estimates and assumptions are based on the best available information, actual results could be materially different from these estimates.

There were no securities where the Valuer was used to determine fair value during the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

3. Summary of Significant Accounting Policies (continued)

(c) Financial Assets and Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss (continued)

iv Transfers between levels of the fair value hierarchy

Transfers between levels of the fair value hierarchy, if any, are deemed to have occurred at the beginning of the reporting period.

(d) Cash and Cash Equivalents

Cash and cash equivalents (short term, highly liquid investments that are readily convertible to known amounts of cash and which are subject to an insignificant risk of changes in value), including time deposits and certificates of deposits, are valued at amortized cost, which approximates fair value.

Certificates of deposit and time deposits have been reclassified from financial assets at fair value through profit or loss to cash and cash equivalents as they are short term, highly liquid, readily convertible to known amounts of cash and subject to an insignificant risk of changes in value.

(e) Due from/to Brokers

Due from brokers consists primarily of cash and margin amounts receivable from the Sub-Trust's clearing brokers and various counterparties. Due to brokers/bank consists primarily of cash and margin accounts payable to the Sub-Trust's clearing brokers and various counterparties. Due from/to broker balances are valued at cost. The amounts receivable from and payable to brokers represents cash settled in the Sub-Trust's broker accounts. These balances are related to cash held as collateral on swaps and futures with clearing counterparties and futures margin cash payable to the Sub-Trust's futures clearing merchant.

Margin amounts are included in due from/to brokers. Due from/to brokers, if any, are disclosed in the Statements of Financial Position as at 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

(f) Foreign Currency Translation

Transactions in foreign currencies are translated at the foreign currency exchange rate in effect at the date of the transaction. Assets and liabilities of the Sub-Trust denominated in foreign currencies are translated into the functional currency of the Sub-Trust at the foreign currency exchange rate in effect at the year end date.

Foreign currency exchange differences arising on translation and realized gains and losses on disposals or settlements of assets and liabilities are recognized in the Statements of Comprehensive Income. Foreign currency exchange gains or losses relating to investments at fair value through profit or loss and all other foreign currency exchange gains or losses relating to monetary items, including cash, are reflected in the net realized gain/(loss) on investments or net change in unrealized gain/(loss) on investments in the Statements of Comprehensive Income.

(g) Redeemable Units

All redeemable participating Units issued by the Sub-Trust provides the Unitholders with the right to redeem for cash at the value proportionate to the Unitholder's share in the Sub-Trust's net assets on the redemption date. In accordance with IAS 32, redeemable participating Units not having identical features, have been classified as a financial liability at the value of the redemption amount in the Statements of Financial Position. The Sub-Trust is contractually obliged to redeem Units in accordance with the Offering Memorandum.

(h) Distributions Payable to Holders of Redeemable Units

Proposed distributions to holders of redeemable participating Units are recognized in the Statements of Comprehensive Income when they are formally authorized and no longer at the discretion of the Investment Manager. The distributions are recognized as a finance cost in the Statements of Comprehensive Income as the Sub-Trust's puttable instruments are classified as liabilities.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

4. Financial Assets and Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss

The three levels of the fair value hierarchy under the amendment to IFRS 13 are described below.

Level 1 – Unadjusted quoted prices in active markets that are accessible at the measurement date for identical, unrestricted assets or liabilities;

Level 2 – Quoted prices in markets that are not active or financial instruments for which significant inputs are observable (including but not limited to quoted prices for similar securities, interest rates, foreign exchange rates, volatility and credit spreads), either directly or indirectly. This may include the Valuers' assumptions in determining fair value measurement;

Level 3 – Prices or valuations that require significant unobservable inputs (including the Valuers' assumptions in determining fair value measurement).

The level in the fair value hierarchy within which the fair value measurement is categorized in its entirety shall be determined on the basis of the lowest level input that is significant to the fair value measurement in its entirety. For this purpose, the significance of an input is assessed against the fair value measurement in its entirety. If a fair value measurement uses observable inputs that require significant adjustment based on unobservable inputs, that measurement is a Level 3 measurement. Assessing the significance of a particular input to the fair value measurement in its entirety requires judgment, considering factors specific to the asset or liability.

As at 30 September 2017 and 30 September 2016, the financial assets at fair value through profit or loss contain investments in underlying funds that have been fair valued in accordance with the policies set out above. The shares of the underlying funds are not publicly traded; redemptions can only be made by the investor funds on the redemption dates and are subject to the required notice periods specified in the Offering Memorandum. As a result, the carrying value of the underlying funds may not be indicative of the value ultimately realized on redemption.

The fair value of the investments in the underlying funds is primarily based on the latest available redemption price as reported by the administrator of the underlying funds. The investor funds may make adjustments to the value based on considerations such as; liquidity of the investor funds' holding in the underlying funds or their underlying investments, the value date of the NAV provided and any restrictions on redemptions.

The following tables show financial assets and financial liabilities recognized at fair value, analyzed between the three levels described previously:

Financial Assets measured at fair value
30-Sep-2017

	Fair value measurement at 30-Sep-2017			Total AUD
	Level 1 AUD	Level 2 AUD	Level 3 AUD	
Financial assets at fair value through profit or loss				
Investment Fund	207,683,139	—	—	207,683,139
Forward Foreign Currency Contracts	—	20,798	—	20,798
Total	207,683,139	20,798		207,703,937

Financial Liabilities measured at fair value
30-Sep-2017

	Fair value measurement at 30-Sep-2017			Total AUD
	Level 1 AUD	Level 2 AUD	Level 3 AUD	
Financial liabilities at fair value through profit or loss				
Forward Foreign Currency Contracts	—	760,937	—	760,937
Total	—	760,937		760,937

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

4. Financial Assets and Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss (continued)

Financial Assets measured at fair value
30-Sep-2016

	Fair value measurement at 30-Sep-2016			Total AUD
	Level 1 AUD	Level 2 AUD	Level 3 AUD	
Financial assets at fair value through profit or loss				
Investment Fund	284,953,988	—	—	284,953,988
Forward Foreign Currency Contracts	—	1,191,084	—	1,191,084
Total	284,953,988	1,191,084	—	286,145,072

Financial Liabilities measured at fair value
30-Sep-2016

	Fair value measurement at 30-Sep-2016			Total AUD
	Level 1 AUD	Level 2 AUD	Level 3 AUD	
Financial liabilities at fair value through profit or loss				
Forward Foreign Currency Contracts	—	2,738,157	—	2,738,157
Total	—	2,738,157	—	2,738,157

During the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016 there were no transfers between Level 1, Level 2 and Level 3 of the fair value hierarchy for financial assets and financial liabilities which were recorded at fair value.

The carrying value of other assets and liabilities included in the Statements of Financial Position, which have not been measured at fair value approximates fair value and have been determined using Level 2 inputs.

5. Offsetting Financial Assets and Financial Liabilities

Derivatives

In order to better define its contractual rights and to secure rights that will help the Sub-Trust mitigate its counterparty risk, the Sub-Trust may enter into an International Swaps and Derivatives Association, Inc. Master Agreement ("ISDA Master Agreement") or similar agreements with its derivative contract counterparties. An ISDA Master Agreement is a bilateral agreement between the Sub-Trust and a counterparty that governs OTC derivatives, including foreign exchange contracts, and typically contains, among other things, collateral posting terms and netting provisions in the event of a default and/or termination event. The provisions of the ISDA Master Agreement typically permit a single net payment in the event of a default (close-out netting) or similar event, including the bankruptcy or insolvency of the counterparty.

Collateral and margin requirements differ between exchange traded derivatives and OTC derivatives. Margin requirements are established by the broker or clearing house for exchange-traded and centrally cleared derivatives (financial futures contracts, options and centrally cleared swaps) pursuant to the governing agreements for those instrument types. Brokers can ask for margin in excess of the minimum in certain circumstances. Collateral terms are contract-specific for OTC derivatives (foreign currency exchange contracts, options and certain swaps). For derivatives traded under an ISDA Master Agreement, the collateral requirements are typically calculated by netting the mark-to-market amount for each transaction under such agreement and comparing that amount to the value of any collateral currently pledged by the Sub-Trust and the counterparty. Additionally, the Sub-Trust may be required to post additional collateral to the counterparty in the form of initial margin, the terms of which would be outlined in the confirmation of the OTC transaction.

For financial reporting purposes, cash collateral that has been pledged to cover obligations of the Sub-Trust and cash collateral received from the counterparty, if any, is reported separately on the Statements of Financial Position as due from/due to broker. Non-cash collateral pledged by the Sub-Trust, if any, is noted in the Schedules of Investments. Generally, the amount of collateral due from or to a counterparty must exceed a minimum transfer amount threshold before a transfer is required to be made. To the extent amounts due to the Sub-Trust from its counterparties are not fully collateralized, contractually or otherwise, the Sub-Trust bears the risk of loss from counterparty nonperformance. The Sub-Trust attempts to mitigate counterparty risk by only entering into agreements with counterparties that it believes to be of good standing and by monitoring the financial stability of those counterparties.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

5. Offsetting Financial Assets and Financial Liabilities (continued)

Derivatives (continued)

Additionally, the netting of assets and liabilities and the offsetting of collateral pledged or received are based on contractual netting/set-off provisions in the ISDA Master Agreement or similar agreements. However, in the event of a default or insolvency of a counterparty, a court could determine that such rights are not enforceable due to restrictions or prohibitions against the right of setoff that may be imposed due to a particular jurisdiction's bankruptcy or insolvency laws.

6. Taxation

There are at present no corporation, income, capital gains, profits or other taxes in the Cayman Islands which would apply to the profits in respect of the Sub-Trust. Nor are there gift, estate or inheritance taxes in the Cayman Islands. The Trustee has applied for and has received from the Governor-in-Cabinet of the Cayman Islands an undertaking in accordance with Section 81 of the Trusts Law (as amended) that for a period of 50 years from the date of the creation of the Master Trust no law which is thereafter enacted in the Cayman Islands imposing any taxes or duty to be levied on income or on capital assets, gains or appreciation or any tax in the nature of estate duty or inheritance tax shall apply to the property comprised in or any income arising under the Sub-Trust or to the Trustee or Unitholders thereof in respect of any such property or income; provided that a Unitholder who is at any time resident or domiciled in the Cayman Islands (other than any object of a charitable trust or power or an exempted or ordinary non-resident company incorporated in the Cayman Islands) shall be liable in and in respect of such time to all and any tax and duty as if such undertaking had never been given and nothing in the relevant section of the Trusts Law shall be construed as exempting any such person resident or domiciled in the Islands from any law imposing any tax or duty referred to in the Trusts Law.

The Sub-Trust invests in securities issued by entities which are domiciled in countries other than the Cayman Islands. Many of these foreign countries have tax laws which indicate that capital gains taxes may be applicable to non residents, such as the Sub-Trust. Typically, these capital gains taxes are required to be determined on a self assessment basis and, therefore, such taxes may not be deducted by the Sub-Trust's brokers on a "withholding" basis.

In accordance with IAS 12 - Income Taxes, the Sub-Trust is required to recognize a tax liability when it is probable that the tax laws of foreign countries require a tax liability to be assessed on the Sub-Trust's capital gains sourced from such foreign country, assuming the relevant taxing authorities have full knowledge of all the facts and circumstances.

The tax liability is then measured at the amount expected to be paid to the relevant taxation authorities using the tax laws and rates that have been enacted or substantively enacted by the end of the reporting period. There is sometimes uncertainty about the way enacted tax law is applied to offshore investment funds. This creates uncertainty about whether or not a tax liability will ultimately be paid by the Sub-Trust. Therefore when measuring any uncertain tax liabilities management considers all of the relevant facts and circumstances available at the time which could influence the likelihood of payment, including any formal or informal practices of the relevant tax authorities.

For the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, the Sub-Trust has measured uncertain tax liabilities and related interest and penalties with respect to foreign capital gains taxes at nil. While this represents management best estimate there remains a risk that foreign tax authorities will attempt to collect taxes on capital gains earned by the Sub-Trust. This could happen without giving any prior warning, possibly on a retrospective basis, and could result in a substantial loss to the Sub-Trust.

7. Significant Agreements and Related Parties

(a) Investment Management and Advisors Fee

Under the terms of the Management Agreement, the Investment Manager receives, from the assets of the Sub-Trust, a quarterly fee accruing daily and calculated and paid on a quarterly basis in arrears equal to 0.80% of the Sub-Trust's average NAV, determined as of the last business day of the applicable quarter end, adjusted to reflect any subscriptions, redemptions and distributions during the applicable calendar quarter. In addition, subject to the consent of the Investment Manager, the Trustee reserves the right to waive fees, or impose greater or lesser fees on, or to rebate all or a portion of any of the investment management fees to any Unitholder, including affiliates of the Investment Manager, as may be agreed to by the Investment Manager, Trustee and the applicable Unitholder. The investment management fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

7. Significant Agreements and Related Parties (continued)

(a) Investment Management and Advisors Fee (continued)

The Sub-Trust invests in underlying funds which also pay investment management fees to the investment advisors who are related parties to Yarra and GS Singapore. The Sub-Trust indirectly bears the expenses paid by the underlying fund. The table below sets forth the fee rate for the underlying fund and is as follows:

Underlying Fund	Annual Fee Rate %
Australia Enhanced Income Fund II, Class IO (Acc), AUD shares	nil

(b) Manager Fee

Mitsubishi UFJ Investor Services & Banking (Luxembourg) S.A. ("MIBL" or the "Manager") serves as the Manager of the Sub-Trust.

MIBL has been authorized as a commercial bank and is regulated in the Grand Duchy of Luxembourg by the Commission de Surveillance du Secteur Financier (CSSF). It was incorporated in Luxembourg as a société anonyme on 11th April 1974 as a majority-owned subsidiary of The Bank of Tokyo, Ltd.

The Manager receives, from the assets of the Sub-Trust, a fee accruing daily and paid on a quarterly basis in arrears equal to 0.05% of the Sub-Trust's average NAV. The manager fees for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016 are disclosed in the Statements of Comprehensive Income, respectively.

(c) Administration Fee

Brown Brothers Harriman & Co. ("BBH") is the Sub-Trust's Administrator. The Administrator performs certain day-to-day administrative tasks on behalf of the Sub-Trust, including maintenance of the Sub-Trust's books and records, calculation of the NAV and payments of the Sub-Trust's expenses.

BBH is paid solely out of the assets of the Sub-Trust including asset-based, safekeeping, transaction, servicing and other fees as may be agreed upon from time to time with the Investment Manager. Additionally, at month end, the securities for the Sub-Trust are segregated based on the transaction type and a fee rate is applied. The Sub-Trust will pay such fees, payable monthly in arrears.

Annual administration charges on the value of month end average net assets will be assessed at the Sub-Trust level, based on the following schedule:

Assets up to USD 500 million	3.0 bps
Assets between USD 500 million – USD 1 billion	2.0 bps
Assets above USD 1 billion	1.5 bps

The Administration fees are converted from AUD to USD.

The administration fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

(d) Distribution Fee

The Global Distributor receives a fee, accruing daily and paid on a quarterly basis in arrears, equal to 0.80% of the Sub-Trust's average NAV, adjusted to reflect any subscriptions, redemptions or distributions during the applicable calendar quarter.

The distribution fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

7. Significant Agreements and Related Parties (continued)

(e) Trustee Fee

Brown Brothers Harriman Trust Company (Cayman) Limited acts as the Trustee for the Sub-Trust. The Trustee is responsible for the overall supervision of the Sub-Trust's assets, pursuant to the terms of the Declaration of Trust. The Sub-Trust will pay such fees, payable monthly in arrears to the Trustee equal to 0.01% of the average NAV.

The trustee fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

(f) Custodian Fee

The Trustee has delegated the responsibility for custody of the Sub-Trust's assets to BBH. The custodian carries out the usual duties regarding custody, cash and securities deposits, without any restriction. Fees are charged on safekeeping of securities on a monthly basis. At month end, the securities for the Sub-Trust are segregated based on the country of origin. The USD equivalent fair value is derived for each security and a fee rate is applied based on country of origin.

The custodian fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

(g) Agent Company Fee

Goldman Sachs Asset Management Co., Ltd. acts as the Agent Company in Japan of the Sub-Trust and charges 0.03% of the Sub-Trust's average NAV.

The agent company fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

(h) Transfer Agent Fee

BBH acts as the Transfer Agent for the Sub-Trust. The Sub-Trust will pay such fees, payable monthly in arrears to the Transfer Agent equal to 0.01% of the average NAV.

The transfer agent fees are disclosed in the Statements of Comprehensive Income for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, respectively.

8. Redeemable Participating Units

Classes	Issue Price	Minimum Initial Subscription
AUD	AUD 10	AUD 100
JPY (Hedged)	JPY 10,000	JPY 10,000
USD	USD 10	USD 100

Units will be offered for sale on each business day at the NAV per Unit of the applicable class.

Units are redeemable at the option of the Unitholder upon notice given in accordance with the terms of the Offering Memorandum. Units will be redeemed at the NAV per Unit of the applicable Class prevailing as of close of business on the applicable Redemption Date, provided that the Investment Manager may, in its sole discretion, reduce such amount by any expenses incurred in connection with such redemption.

Units of the Master Fund are also redeemable at the option of the Unitholder on demand upon notice given in accordance with the terms of the Offering Memorandum.

As of 30 September 2017 and 30 September 2016, the Sub-Trust had two Unitholders, Mitsubishi UFJ Morgan Stanley PB Securities Co. Ltd., which is a related party to the Manager, and SMBC Nikko Securities Inc.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

8. Redeemable Participating Units (continued)

The following summarizes the activity in the Sub-Trust's Units.

	Number of Units		
	Class AUD	Class JPY (Hedged)	Class USD
Balance 30 September 2015	19,210,794	1,154,060	10,012,346
Subscriptions of redeemable participating Units	2,448,770	44,419	2,126,239
Redemptions of redeemable participating Units	(4,511,281)	(612,106)	(3,240,230)
Balance 30 September 2016	16,148,273	586,373	8,898,355
Subscriptions of redeemable participating Units	2,246,158	120,877	1,405,391
Redemptions of redeemable participating Units	(5,373,105)	(212,637)	(5,506,633)
Balance 30 September 2017	13,021,326	494,613	4,797,113

9. NAV per Unit

The consideration received or paid for redeemable participating Units issued or re-purchased respectively is based on the value of the Sub-Trust's net assets value per redeemable participating Units at the date of the transaction.

The NAV and NAV per Unit for each Unit class outstanding for the Sub-Trust are as follows:

Unit Class	30-Sep-2017				30-Sep-2016			
	Net Asset Value		NAV Per Unit		Net Asset Value		NAV Per Unit	
Class AUD	AUD	117,233,899	AUD	9.003223	AUD	143,789,733	AUD	8.904341
Class JPY (Hedged)	AUD	51,924,523	JPY	9,271.023048	AUD	68,764,149	JPY	9,087.636656
Class USD	AUD	40,372,312	USD	6.593904	AUD	74,306,303	USD	6.390271

10. Distributions

Distributions are made at the election of the Investment Manager and the amounts declared and paid during the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016 are disclosed in the Statements of Comprehensive Income when net assets attributable to holders of redeemable participating Units are classified as a financial liability. Distributions to Unitholders reduce the Sub-Trust's NAV per Unit without any corresponding change in the number of Units per Unitholder. This results in a Unitholder's overall investment in the Sub-Trust being reduced. In addition, any distributions paid during a year which are in excess of the Sub-Trust's accumulated net income/(loss) from operations results in a portion of the distributions being a return of capital.

11. Financial Investments and Associated Risks

The Sub-Trust's investing activities expose it to various types of risks that are associated with the financial investments and markets in which the underlying Master Fund invests. These may be both derivative and non-derivative financial investments. The Sub-Trust's investment portfolio is comprised of a sole underlying fund and derivative investments at the period end. The Trustee has appointed the Investment Advisors to manage the risks of the Sub-Trust. The significant types of financial risks which the Sub-Trust is exposed to are market risk, liquidity risk and credit risk. The Offering Memorandum provides details of these and other types of risk some of which are additional to the information provided in these financial statements.

Asset allocation is determined by the Sub-Trust's Investment Advisors who manage the allocation of assets to achieve the investment objective as detailed in Note 2. Achievement of the investment objective involves taking risks. The Investment Advisors exercise judgment based on analysis, research and risk management techniques when making investment decisions. Divergence from the benchmark and/or the target asset allocation and the composition of the portfolio is monitored in accordance with the Sub-Trust's risk management policy.

The existence of multiple investment vehicles investing in the same underlying fund, presents certain unique risks to investors. The Sub-Trust may be materially affected by the actions of another entity investing in the same underlying fund. For example, if another Unitholder of the underlying fund redeems some or all of its interests, the Sub-Trust may experience higher pro rata operating expenses, thereby producing lower returns. Similarly, the underlying fund may become less diverse due to redemptions from its other Unitholders, resulting in increased portfolio risk. The underlying fund may restrict its investment activities or be precluded from investing in certain instruments due to regulatory restrictions on certain of its direct or indirect investors or otherwise, which may have an adverse effect on the performance of the underlying fund, and, in turn, the Sub-Trust.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

The risk management policies employed in relation to the Sub-Trust are detailed below.

(a) Market Risk

The potential for changes in the fair value of the Sub-Trust's investment portfolio is referred to as market risk. Commonly used categories of market risk include currency risk, interest rate risk and other price risk.

- Currency risk may result from exposures to changes in spot prices, forward prices and volatilities of currency rates.
- Interest rate risk may result from exposures to changes in the level, slope and curvature of the various yield curves, the volatility of interest rates, mortgage prepayment speeds and credit spreads.
- Other price risk are the risk that the value of an investment will fluctuate as a result of changes in market prices other than those arising from currency risk or interest rate risk and may result from exposures to changes in the prices and volatilities of individual equities, equity baskets, equity indices, and commodities.

The market risk strategy is driven by the Sub-Trust's investment risk and return objectives.

Market risk is managed through the application of risk budgeting principles. The Investment Advisors determine an appropriate risk target, commonly referred to as Tracking Error, employing a risk budgeting framework.

A Market Risk Analysis Group at Goldman Sachs ("IMD MRA") is responsible for independently monitoring, analyzing and reporting the market risks taken by the Investment Advisors. IMD MRA uses a number of risk metrics to monitor the market risks including monitoring sensitivities, and Tracking Error.

Details of the Sub-Trust's investment portfolio at the reporting date are disclosed in the Schedules of Investments. All individual collective investment schemes and derivative investments are disclosed separately.

(i) Currency Risk

Each currency class of the portfolio will seek to hedge against each relevant currency (with the exception of the USD class which is discussed further below). This is referred to as Class Hedging. Moreover, where a Unitholder invests in Units of a Hedged Class that are hedged into a class currency other than the home currency of the Unitholder's own jurisdiction, such Unitholder will be exposed to the significant risk that the class currency will depreciate against such home currency.

Hedging with the relevant class currency is not necessarily complete and each currency class may be subject to currency exchange fluctuation of the currency in which the Units have been issued.

The assets of the Sub-Trust are denominated in AUD, the value of the USD Class will fluctuate in line with the USD/AUD exchange rate regardless of underlying performance.

In principle, each class of the Sub-Trust is hedged to the currency of that class with the exception of the USD class. Hedging gains and losses, with respect to hedging activity undertaken by the Sub-Trust on behalf of a Currency Class, are allocated solely to that respective currency class.

The Sub-Trust may invest in financial investments and enter into transactions denominated in currencies other than their functional currency. Consequently, the Sub-Trust may be exposed to risks that the exchange rate of their functional currency relative to other foreign currencies may change in a manner that has an adverse effect on the value of that portion of the Sub-Trust's assets or liabilities denominated in currencies other than their functional currency. Please refer to the Schedules of Investments of the Sub-Trust which details investments in currencies other than its functional currency. At 30 September 2017 and 30 September 2016, substantially all non-AUD investments were hedged to the AUD. This is referred to as Portfolio Hedging.

When an investor invests into a Unit class which is in a different currency to the base currency of the Sub-Trust in which it invests, the currency risk of the investor will be different to the currency risk of the Sub-Trust.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(a) Market Risk (continued)

(i) Currency Risk (continued)

The Sub-Trust had no significant currency risk exposure at 30 September 2017 and 30 September 2016.

Although not affecting total fund net income, the value of the USD class will fluctuate in line with USD/AUD exchange rate. Therefore, a 15% appreciation/depreciation in the USD will impact the net assets of the respective USD class by +/- 15% and will not have any impact on the other classes.

The Sub-Trust had currency concentrations, including hedging, greater than +/-5% of NAV as at 30 September 2017 and 30 September 2016:

Currency	Currency concentration 30-Sep-2017	Currency concentration 30-Sep-2016
JPY	24.84%	24.12%

For the Master Fund, there were no currency concentrations, including hedging, greater than 5% of NAV at 30 September 2017 and 30 September 2016.

(ii) Interest Rate Risk

The Sub-Trust may invest in fixed income securities and corporate debt through its indirect exposure to the investments of the Master Fund. Any change to the relevant interest rates for particular securities may result in the Investment Advisors being unable to secure similar returns on the expiry of the contracts or the sale of securities. In addition, changes to prevailing interest rates or changes in expectations of future rates may result in an increase or decrease in the value of the securities held. In general, if interest rates rise, the value of the fixed income securities will decline. A decline in interest rates will in general have the opposite effect.

The Sub-Trust may invest in instruments in desired currencies at fixed, floating and zero rates of interest through its indirect exposure to the investment of the Master Fund.

The Sub-Trust had no significant direct interest rate risk exposure at 30 September 2017 and 30 September 2016, however the Sub-Trust did have indirect interest rate exposure via the Master Fund's investment portfolio.

The interest rate profile of the financial assets and liabilities of the Sub-Trust is as follows:

At 30-Sep-2017	Up to 1 year	1 - 5 years	Over 5 years	Non Interest Bearing	Total
Assets					
Cash and cash equivalents	4,125,099	-	-	6,890	4,131,989
Financial assets held for trading and/or hedging	-	-	-	207,703,937	207,703,937
Receivable for investments sold	-	-	-	258,521	258,521
Other assets	-	-	-	1,292,452	1,292,452
Total Assets	4,125,099	-	-	209,261,800	213,386,899
Liabilities					
Financial liabilities held for trading and/or hedging	-	-	-	760,937	760,937
Payable for investments purchased	-	-	-	1,303,000	1,303,000
Other liabilities	-	-	-	1,792,228	1,792,228
Total Liabilities excluding net assets attributable to Unitholders	-	-	-	3,856,165	3,856,165

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(a) Market Risk (continued)

(ii) Interest Rate Risk (continued)

At 30-Sep-2016

	Up to 1 year	1 - 5 years	Over 5 years	Non Interest Bearing	Total
Assets					
Cash and cash equivalents	4,803,373	—	—	—	4,803,373
Financial assets held for trading and/or hedging	—	—	—	286,145,072	286,145,072
Receivable for investments sold	—	—	—	1,360,498	1,360,498
Other assets	—	—	—	902,880	902,880
Total Assets	4,803,373	—	—	288,408,450	293,211,823
Liabilities					
Financial liabilities held for trading and/or hedging	—	—	—	2,738,157	2,738,157
Payable for investments purchased	—	—	—	905,229	905,229
Other liabilities	—	—	—	2,708,252	2,708,252
Total Liabilities excluding net assets attributable to Unitholders	—	—	—	6,351,638	6,351,638

The interest profile of the financial assets and liabilities of the Master Fund is as follows:

At 30-Sep-2017

	Up to 1 year	1 - 5 years	Over 5 years	Non Interest Bearing	Total
Assets					
Financial assets held for trading and/or hedging	171,595,715	15,196,377	7,421,562	2,855,823	197,069,477
Total Assets	171,595,715	15,196,377	7,421,562	2,855,823	197,069,477
Liabilities					
Financial liabilities held for trading and/or hedging	—	—	—	—	—
Total Liabilities excluding net assets attributable to Unitholders	—	—	—	—	—

At 30-Sep-2016

	Up to 1 year	1 - 5 years	Over 5 years	Non Interest Bearing	Total
Assets					
Financial assets held for trading and/or hedging	240,175,793	35,068,544	6,807,513	4,139,739	286,191,589
Total Assets	240,175,793	35,068,544	6,807,513	4,139,739	286,191,589
Liabilities					
Financial liabilities held for trading and/or hedging	—	—	—	—	—
Total Liabilities excluding net assets attributable to Unitholders	—	—	—	—	—

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(a) Market Risk (continued)

(iii) Other Price Risk

Other price risk is the risk that the value of a financial investment will fluctuate as a result of changes in market prices, other than those arising from currency risk or interest rate risk whether caused by factors specific to an individual investment, its issuer or any factor affecting financial investments traded in the market.

As the Sub-Trust's financial investments are carried at fair value with fair value changes recognized in the Statements of Comprehensive Income, all changes in market conditions will directly affect net assets attributable to holders of redeemable participating Units.

The Sub-Trust's investments in collective investment schemes/mutual funds are based upon the NAV as supplied by the underlying funds, in accordance with the valuation policy of the applicable fund as outlined in its Offering Memorandum. While it is expected that the assets of the mutual funds will generally be valued by an independent third party administrator or other service provider, there may be circumstances in which certain securities or other assets of a mutual fund may not have a readily ascertainable market price. In such circumstances, the manager of the relevant mutual fund may be required to value such securities or instruments.

The following analysis for the Sub-Trust is presented based on the indirect exposure to the investments of the underlying fund.

Sensitivity percentages have been changed this period to more appropriately reflect prevailing market conditions.

	Impact on NAV for a 10% Price Movement		Impact on NAV for a 15% Price Movement	
	30-Sep-17 Higher	30-Sep-17 Lower	30-Sep-16 Higher	30-Sep-16 Lower
Banking	3.2%	(3.2%)	5.6%	(5.6%)
Insurance	0.9%	(0.9%)	1.0%	(1.0%)
Hotels, Motels, Inns & Gaming	0.8%	(0.8%)	0.8%	(0.8%)
Funds	0.7%	(0.7%)	—	—
Financials	0.5%	(0.5%)	2.4%	(2.4%)
Oil & Gas	—	—	1.2%	(1.2%)
Other	2.4%	(2.4%)	3.4%	(3.4%)
Total Portfolio	8.5%	(8.5%)	14.4%	(14.4%)

(iv) Limitations of Sensitivity Analysis

Some of the limitations of the sensitivity analysis tables above include:

- the analysis is based on historical data and cannot take account of the fact that future market price movements, correlations between markets and levels of market liquidity may bear no relation to historical patterns;
- the analysis is a relative estimate of risk rather than a precise and accurate number;
- the analysis represents a hypothetical outcome and is not intended to be predictive; and
- future market conditions could vary significantly from those experienced in the past.

(b) Liquidity Risk

Liquidity risk is the risk that the Sub-Trust will encounter difficulty in meeting obligations associated with financial liabilities that are settled by delivering cash or another financial asset. Among other things liquidity could be impaired by an inability to access secured and/or unsecured sources of financing, an inability to sell assets or unforeseen outflows of cash or collateral or violations of counterparty or prime broker terms or covenants. This situation may arise due to circumstances outside of the Sub-Trust's control, such as a general market disruption or an operational problem affecting the Sub-Trust or third parties. Also, the ability to sell assets may be impaired if other market participants are seeking to sell similar assets at the same time.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(b) Liquidity Risk (continued)

The Sub-Trust's financial assets and financial liabilities include investments in derivative contracts traded over the counter, which are not traded in an organized public market and which may be illiquid and in investments which may represent a significant percentage of issue size. As a result, the Sub-Trust may not be able to liquidate quickly some of these investments at an amount close to fair value in order to meet requirements, or to respond to specific events such as deterioration in the creditworthiness of any particular issuer. The forced liquidation of investment positions may cause financial losses.

The Sub-Trust's investments include collective investment schemes, which may impose greater restrictions on redemptions than those imposed by the Sub-Trust. This may include offerings less frequent redemption dates than are offered by the Sub-Trust to its Unitholders.

The Sub-Trust provides for the subscription and redemption of Units and it is therefore exposed to the liquidity risk associated with Unitholder redemptions in accordance with the terms in the Offering Memorandum. The Sub-Trust's Offering Memorandum provides for the daily subscription and redemption of Units.

The Sub-Trust is managed to include liquid investments sufficient to meet normal liquidity needs although substantial redemptions of Units in the Sub-Trust could require the Sub-Trust to liquidate its investments more rapidly than otherwise desirable in order to raise cash for the redemptions. These factors could adversely affect the value of the Units redeemed and the valuation of the Units that remain outstanding and the liquidity of the Sub-Trust's remaining assets if more liquid assets have been sold to meet redemptions.

The Trustee may limit or suspend redemptions in certain circumstances, including, but not limited to, when the determination of NAV has been suspended; where the disposal of part or all of the Sub-Trust's assets to meet such redemption requests would, in the reasonable opinion of the Trustee, be prejudicial to Unitholders; or under extraordinary circumstances beyond the control of the Trustee. With respect to any redemption, having consulted with the Investment Manager, the Trustee may reserve amounts from the redemption proceeds for any expenses, liabilities or contingencies, even if such reserves are not required by IFRS.

As at 30 September 2017 and 30 September 2016, all liability amounts are due within three months.

As at 30 September 2017 gross inflows and gross outflows for forward foreign currency contracts were AUD 55,397,101 and AUD 56,137,240, respectively.

As at 30 September 2016 gross inflows and gross outflows for forward foreign currency contracts were AUD 223,092,758 and AUD 224,639,831, respectively.

Forward foreign currency contracts are generally settled net.

Financing arrangements include derivative transactions.

Expiration or termination of available financing for leveraged positions, and the requirements to post collateral in respect of changes in the fair value of leveraged exposures or changes in advance rates or other terms and conditions of the Sub-Trust's financing arrangements, can result in adverse effects to the Sub-Trust's access to liquidity and ability to maintain leveraged positions, and may cause the Sub-Trust to incur material losses. The Sub-Trust may borrow or utilize other forms of leverage (on a secured and unsecured basis) for any purpose including, increasing investment capacity, and covering operating expenses or for the settlement of transactions. However, there is no guarantee that any such arrangements for obtaining leverage will be available, or, if available, will be available on terms and conditions acceptable to the Sub-Trust. Unfavorable economic conditions also could increase funding costs, limit access to the capital markets or result in a decision by lenders not to extend credit to the Sub-Trust.

The use of leverage also increases risk as it magnifies the effect of any volatility in fair values on the Sub-Trust's net assets attributable to holders of redeemable participating Units.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(b) Liquidity Risk (continued)

A decline in the market value of the Sub-Trust's assets may have particular adverse consequences in instances where they have borrowed money on the market value of those assets. A decrease in the market value of those assets may result in the lender (including derivative counterparties) requiring the Sub-Trust to post additional collateral or otherwise sell assets at a time when it may not be in the Sub-Trust's best interest to do so.

(c) Credit Risk

Credit risk is the risk that one party to a financial investment will cause a financial loss for the other party by failing to discharge an obligation.

The Investment Advisors have adopted procedures to reduce credit risk related to its dealings with counterparties or issuers in the Sub-Trust. Before transacting, the Investment Advisors or their related parties evaluate both creditworthiness and reputation by conducting a credit analysis of the party, their business and reputation. The credit risk of approved counterparties or issuers is then monitored on an ongoing basis, including periodic reviews of financial statements and interim financial reports as needed.

In order to reduce exposure to credit losses, some over-the-counter derivative agreements entered into by the Sub-Trust permit netting of transactions arising under such agreements, excluding those with counterparties executing only spot foreign exchange contracts. While such netting rights do not result in an offset of reported assets and liabilities, they do provide for the reduction of credit risk on favorable over-the-counter transactions with a single counterparty to the extent of the value of unfavorable over-the-counter transactions with the same counterparty upon the occurrence of an event of default or termination event as all over-the-counter transactions with the counterparty under such agreement are terminated and amounts owed from and amounts payable to the counterparty are settled on a net basis.

Debt securities are subject to the risk of issuer's or a guarantor's inability to meet principal and interest payments on its obligations and are subject to price volatility due to factors such as interest rate sensitivity, market perception of the creditworthiness of the issuer, and general market liquidity.

The Sub-Trust is subject to a number of risks relating to the insolvency, administration, liquidation or other formal protection from creditors ("Insolvency") of the Custodian or any sub-custodian / Trustee. These risks include without limitation:

- i. The loss of all cash held with the Custodian or sub-custodian / Trustee which is not being treated as client money both at the level of the Custodian and any sub-custodians / Trustee ("client money").
- ii. The loss of all cash which the Custodian or sub-custodian / Trustee has failed to treat as client money in accordance with procedures (if any) agreed with the Sub-Trust.
- iii. The loss of some or all of any securities held on Sub-Trust which have not been properly segregated and so identified both at the level of the Custodian and any sub-custodians / Trustee ("Trust Assets") or client money held by or with the Custodian or sub-custodian / Trustee.
- iv. The loss of some or all assets due to the incorrect operation of accounts by the Custodian or sub-custodian / Trustee or due to the process of identifying and transferring the relevant Trust Assets and/or client money including any deduction to meet the administrative costs of an insolvency.
- v. Losses caused by prolonged delays in receiving transfers of balances and regaining control over the relevant assets.

An insolvency could cause severe disruption to the Sub-Trust's investment activity. In some circumstances, this could cause the Investment Manager to temporarily suspend the calculation of the NAV and dealing in Units.

Cash held with the Trustee may be pooled with the Trustee's cash and, in respect of that cash, the Sub-Trust may rank as a general creditor of the Trustee in the event of the Trustee's insolvency. Non cash held with the Custodian are held in segregated accounts and are not expected to be pooled and therefore should not be available to other creditors of the Trustee in the event of an insolvency. The Trustee may also appoint sub-custodians to hold certain assets on behalf of the Sub-Trust. In the case of bankruptcy or insolvency of a sub-custodian, the Sub-Trust's rights with respect to those assets may be delayed, limited or reduced.

As of and for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016, the Trustee did not hold any cash, investments or other assets of the Sub-Trust.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(c) Credit Risk (continued)

At 30 September 2017 and 30 September 2016, the following financial assets were exposed to credit risk: derivative financial assets, cash and cash equivalents and other receivables. The carrying amounts of financial assets best reflect the maximum counterparty credit risk exposure at the reporting date.

The maximum exposure to credit risk as at the reporting date can be analyzed as follows:

Instrument Type	30-Sep-2017 AUD	30-Sep-2016 AUD
Cash and cash equivalents	4,131,989	4,803,373
Forward foreign currency contracts	20,798	1,191,084
Receivable for investments sold	258,521	1,360,498
Receivable for Units subscribed	1,292,437	902,390
Other assets	15	490
Total	5,703,760	8,257,835

Open ended investment companies and listed stock investments are not included as they are not exposed to direct credit risk.

The Sub-Trust has the following exposure to underlying issuer credit risk:

Rating	30-Sep-2017	30-Sep-2016
Not Rated	100.00	100.00
Total	100.00%	100.00%

The Master Fund has the following exposure as a percentage of total market value of the Master Fund to issuer credit risk:

Security ratings, if any, are obtained from S&P/Moody's/Fitch Investor Service.

Rating	30-Sep-2017 %	30-Sep-2016 %
A	2.07	5.07
BBB	43.61	48.87
BB	14.77	11.79
B	1.58	2.62
Not Rated	37.97	31.65
Total	100.00%	100.00%

The table above indicates the credit quality of the Master Fund's investments. Counterparties or issuers are rated either investment grade in their own right or if not rated then an entity in the corporate family tree has such a rating and the Credit Risk Management and Advisory department of the Investment Manager believes there is strong implicit support from the rated entity to the counterparty or issuer. The Investment Advisors have a credit policy in place and the exposure to credit risk is monitored on an ongoing basis.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(c) Credit Risk (continued)

A credit default swap is an agreement that involves one party making a stream of payments to another party in exchange for the right to receive protection on a reference security or obligation. As a seller of protection, the Sub-Trust generally receives a payment stream throughout the term of swap, provided that there is no credit event. In addition, if the Sub-Trust sells protection through a credit default swap, the Sub-Trust could suffer a loss because the value of the reference obligation may be less than the premium payments received. Upon the occurrence of a specific credit event, the Sub-Trust, as a seller of credit protection, may be required to take possession of the defaulted reference obligation and pay the buyer an amount equal to the notional amount of the swap in a physical settled trade. The Sub-Trust may also pay a net settlement amount in the form of cash or securities equal to the notional amount of the swap reduced by the recovery value of the reference obligation in a cash settled trade. Recovery values are at times established through the credit event auction process in which market participants are ensured that a transparent price has been set for the defaulted security or obligation. In addition, the Sub-Trust is entitled to a return of any assets, which have been pledged as collateral to the counterparty. The notional amount of the Sub-Trust's credit default swaps, if any, are disclosed in the Schedules of Investments. There were no credit default swaps as at 30 September 2017 and 30 September 2016.

The Sub-Trust had no counterparty or issuer credit risk greater than 5% of the net assets attributable to holders of redeemable participating Units as at 30 September 2017 and 30 September 2016.

For the Master Fund the table below sets forth concentrations greater than 5% of NAV.

Concentration	30-Sep-2017	30-Sep-2016
	% of Net Assets of Master Fund	
National Australia Bank Ltd	9.60	10.82
Macquarie Group Ltd	7.94	.A
Crown Resorts Ltd	7.76	5.30
Commonwealth Bank of Australia	6.54	6.05
Suncorp-Metway Ltd	5.89	.A
APT Pipelines Ltd	5.58	.A
Westpac Banking Corp	5.32	.A
Australia & New Zealand Banking Group Ltd	5.28	.A

^AAmount is less than 5%.

(d) Additional Risks

(i) Capital Risk Management

The capital of the Sub-Trust is represented by the net assets attributable to holders of redeemable participating Units. The amount of the net assets attributable to holders of redeemable participating Units can change significantly on a daily basis as the Sub-Trust is subject to daily subscriptions and redemptions at the discretion of Unitholder. The Sub-Trust's objective when managing capital is to safeguard the Sub-Trust's ability to continue as a going concern in order to provide returns for Unitholder and benefits for other stakeholders and to maintain a strong capital base to support the development of the investment activities of the Sub-Trust.

(ii) Concentration Risk

The Sub-Trust may invest in a limited number of investments and investment themes. A consequence of a limited number of investments is that performance may be more favorably or unfavorably affected by the performance of an individual investment.

(iii) Operational Risk

Operational risk is the potential for loss caused by a deficiency in information, communications, transaction processing and settlement, and accounting systems. The Sub-Trust's service providers, as shown in Note 7, maintain controls and procedures for the purpose of helping to manage operational risk. Reviews of the service levels of service providers are performed on a regular basis by the Investment Advisors. No assurance is given that these measures will be 100% effective.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

11. Financial Investments and Associated Risks (continued)

(d) Additional Risks (continued)

(iv) Legal, Tax and Regulatory Risks

Legal, tax and regulatory changes could occur during the duration of the Sub-Trust which may adversely affect the Sub-Trust.

With respect to tax, the Sub-Trust may be subject to taxation on capital gains, interest and dividends in certain jurisdictions where the Sub-Trust invests.

The interpretation and applicability of the tax law and regulations by tax authorities at times may not be clear or consistent. Tax obligations where probable and estimable are recorded as liabilities. However, some tax obligations are subject to uncertainty and may result in additional tax liabilities, interest and penalties based on future actions, interpretations or judgments of these authorities covering current and past tax positions. Accounting standards may also change, creating or removing an obligation for the Sub-Trust to accrue for a potential tax liability. Consequently, it is possible that certain potential tax obligations which currently are not probable may become so which may result in additional tax liabilities for the Sub-Trust in the future and these additional liabilities may be material. Because of the foregoing uncertainties, the NAV may not reflect the tax liabilities ultimately borne by the Sub-Trust, including at the time of any subscriptions, redemptions or exchanges of interests in the Sub-Trust, which could have an adverse impact on investors at that time.

Additional details of risk not disclosed in these Financial Statements can be found in the Sub-Trust's Offering Memorandum.

12. Credit Institutions

Cash held by BBH as at 30 September 2017 and 30 September 2016 was AUD 6,890 and AUD 0, respectively.

Sub-Trust	Credit Institutions 30-Sep-2017	Credit Institutions 30-Sep-2016
GS Australia Hybrid Securities Fund	Barclays Bank PLC Brown Brothers Harriman and Co. National Australia Bank Ltd	Barclays Bank PLC National Australia Bank Ltd

13. Exchange Rates

The following exchange rates (against AUD) were used to convert the investments and other assets and liabilities denominated in currencies other than AUD:

	30-Sep-2017	30-Sep-2016
Japanese Yen (JPY)	88.312206	77.493044
United States Dollar (USD)	0.783500	0.765250

14. Soft Commissions

The Sub-Trust may pay commissions for execution only and/or for execution and investment research. The Sub-Trust did not otherwise enter into any third party soft commission arrangements for the years ended 30 September 2017 and 30 September 2016.

15. Contingent Liabilities

There were no contingent liabilities as at 30 September 2017 and 30 September 2016.

16. Subsequent Events

No events occurred subsequent to 30 September 2017 that would require adjustment to, or disclosure in these financial statements.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Notes to the Financial Statements
For the Year Ended 30 September 2017

17. Indemnifications

The Sub-Trust may enter into contracts that contain a variety of indemnifications. The Sub-Trust's maximum exposure under these arrangements is unknown. However, the Sub-Trust has not had prior claims or losses pursuant to these contracts.

18. Approval of the Financial Statements

The Trustee has approved the financial statements on 29 December 2017 and the financial statements may not be amended after issuance.

GS Australia Hybrid Securities Fund
Schedule of Investments
As at 30 September 2017

Holdings/ Units in Local Currency	Description	Fair Value AUD	% of Net Assets
	Investment Fund*		
	Australian Dollar		
1,460,295	Australia Enhanced Income Fund II - Class IO (Acc), AUD shares	207,683,139	99.12
	Total Investment Fund	207,683,139	99.12

Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes

Maturity Date	Currency	Amount Bought	Currency	Amount Sold	Counterparty	Unrealized Gain AUD	% of Net Assets
29/09/2017	AUD	117,795	JPY	10,104,195	Westpac Corp	3,380	0.00
25/10/2017	AUD	111,285	JPY	9,794,691	UBS AG	225	0.00
25/10/2017	AUD	248,235	JPY	21,608,000	JP Morgan Chase & Co	3,227	0.00
25/10/2017	AUD	705,266	JPY	61,238,000	Barclays Bank PLC	10,901	0.01
29/09/2017	JPY	10,104,195	AUD	112,750	Westpac Corp	1,664	0.00
					Australia & New Zealand		
25/10/2017	JPY	61,786,256	AUD	699,180	Banking Group Ltd	1,401	0.00
Total Unrealized Gain on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes						20,798	0.01

Maturity Date	Currency	Amount Bought	Currency	Amount Sold	Counterparty	Unrealized Loss AUD	% of Net Assets
25/10/2017	AUD	112,927	JPY	10,104,195	Westpac Corp	(1,642)	(0.00)
25/10/2017	JPY	14,456,000	AUD	166,121	Royal Bank of Scotland PLC	(2,207)	(0.00)
25/10/2017	JPY	1,536,716,606	AUD	17,672,550	Royal Bank of Canada	(248,056)	(0.12)
25/10/2017	JPY	1,536,716,607	AUD	17,675,437	Barclays Bank PLC	(250,942)	(0.12)
25/10/2017	JPY	1,543,496,925	AUD	17,759,464	Citibank	(258,090)	(0.12)
Total Unrealized Loss on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes						(760,937)	(0.36)

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

6

GS Australia Hybrid Securities Fund
Schedule of Investments
As at 30 September 2017

	Fair Value AUD	% of Net Assets
Total Investments		
Total Investment Fund	207,683,139	99.12
Total Unrealized Gain on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes	20,798	0.01
Total Unrealized Loss on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes	(760,937)	(0.36)
Other Assets and Liabilities	2,587,734	1.23
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units	209,530,734	100.00

* Represents affiliated holding.

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

7

GS Australia Hybrid Securities Fund
Schedule of Investments
As at 30 September 2016

Holdings/ Units in Local Currency	Description	Fair Value AUD	% of Net Assets
	Investment Fund*		
	Australian Dollar		
2,177,382	Goldman Sachs Australia Enhanced Income Fund II - Class IO (Acc), AUD shares	284,953,988	99.34
	Total Investment Fund	284,953,988	99.34

Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes

Maturity Date	Currency	Amount Bought	Currency	Amount Sold Counterparty	Unrealized Gain AUD	% of Net Assets
06/10/2016	AUD	351,562	JPY	27,102,000 HSBC Bank PLC	3,684	0.00
06/10/2016	AUD	366,469	JPY	28,242,000 Bank of America NA	3,958	0.00
06/10/2016	AUD	1,117,104	JPY	85,894,037 JP Morgan Chase & Co	14,580	0.01
06/10/2016	AUD	1,919,400	JPY	148,602,630 Royal Bank of Canada	11,956	0.00
06/10/2016	AUD	23,468,991	JPY	1,799,308,898 UBS AG	373,293	0.13
06/10/2016	AUD	23,796,565	JPY	1,823,822,802 State Street Bank & Trust Co	386,209	0.13
06/10/2016	AUD	24,266,484	JPY	1,859,902,355 Citibank	393,016	0.14
18/11/2016	AUD	295,303	JPY	22,600,734 UBS AG	4,388	0.00
Total Unrealized Gain on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes					1,191,084	0.41

Maturity Date	Currency	Amount Bought	Currency	Amount Sold Counterparty	Unrealized Loss AUD	% of Net Assets
06/10/2016	JPY	1,924,291,574	AUD	25,228,670 Barclays Bank PLC	(528,710)	(0.18)
06/10/2016	JPY	1,924,291,574	AUD	25,229,001 JP Morgan Chase & Co	(529,041)	(0.19)
06/10/2016	JPY	1,924,291,574	AUD	25,242,239 Bank of America NA	(542,279)	(0.19)
18/11/2016	JPY	1,799,308,898	AUD	23,534,160 UBS AG	(373,573)	(0.13)
18/11/2016	JPY	1,799,308,898	AUD	23,541,929 State Street Bank & Trust Co	(381,342)	(0.13)
18/11/2016	JPY	1,799,308,900	AUD	23,543,798 Citibank	(383,212)	(0.13)
Total Unrealized Loss on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes					(2,738,157)	(0.95)

GS Australia Hybrid Securities Fund
Schedule of Investments
As at 30 September 2016

	Fair Value AUD	% of Net Assets
Total Investments		
Total Investment Fund	284,953,988	99.34
Total Unrealized Gain on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes	1,191,084	0.41
Total Unrealized Loss on Forward Foreign Currency Contracts held for Class Hedging Purposes	(2,738,157)	(0.95)
Other Assets and Liabilities	3,453,270	1.20
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Units	286,860,185	100.00

* Represents affiliated holding.

The accompanying notes form an integral part of the financial statements.

9

2 ファンドの現況

純資産額計算書

米ドルクラス（為替ヘッジあり）は、2018年3月28日から運用を開始する予定のため、本書の日付現在、該当事項はない。

英文から翻訳された独立監査人の報告書

MUGC GS ケイマン・ファンドの受託会社であるブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 御中

監査意見

私たちは、添付の財務書類が、国際財務報告基準に準拠して、MUGC GS ケイマン・ファンドのサブ・ファンドであるGS オーストラリア・ハイブリッド証券ファンド（以下「サブ・ファンド」という。）の 2017年9月30日現在の財政状態ならびに同日をもって終了する会計年度の経営成績およびキャッシュ・フローの状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の対象範囲

サブ・ファンドの財務書類は以下で構成されている。

- ・ 2017年9月30日現在の財政状態計算書
- ・ 2017年9月30日現在の投資明細表
- ・ 同日に終了した会計年度の包括利益計算書
- ・ 同日に終了した会計年度の買戻可能参加受益証券の受益者に帰属する純資産変動計算書
- ・ 同日に終了した会計年度のキャッシュ・フロー計算書
- ・ 財務書類に対する注記（重要な会計方針の要約を含む）

監査意見の根拠

私たちは、国際監査基準に準拠して監査を行った。本基準のもとでの私たちの責任は、本報告書の「財務書類監査に対する監査人の責任」区分に詳述されている。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

独立性

私たちは、国際会計士倫理基準審議会の定める倫理規程（IESBA Code）に基づきサブ・ファンドに対して独立性を保持している。私たちは、当該 IESBA Code で定められるその他の倫理上の責任を果たした。

財務書類に対する経営者の責任

経営者は、国際財務報告基準に準拠して財務書類を作成し適正に表示すること、および不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務書類を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備および運用する責任を有している。

財務書類を作成するに当たり、経営者は、サブ・ファンドが継続企業として存続する能力があるかどうかを評価し、必要がある場合には当該継続企業の前提に関する事項を開示する責任を有し、また、経営者がサブ・ファンドの清算若しくは事業停止の意図があるか、またはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務書類を作成する責任を有している。

財務書類監査に対する監査人の責任

私たちの監査の目的は、全体としての財務書類に、不正または誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、監査意見を表明することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、国際監査基準に準拠して行った監査が、すべての重要な虚偽表示を常に発見することを保証(guarantee)するものではない。虚偽表示は、不正または誤謬から発生する可能性があり、個別にまたは集計すると、当該財務書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私たちは、国際監査基準に準拠して実施する監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持し、また、以下を行う。

- ・不正または誤謬による財務書類の重要な虚偽表示リスクを識別、評価し、当該リスクに対応した監査手続を立案、実施し、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの除外、虚偽の陳述、および内部統制の無効化が伴うためである。
- ・状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、サブ・ファンドの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・経営者が採用した会計方針およびその適用方法の適切性、ならびに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性を評価し、関連する開示の妥当性を検討する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、サブ・ファンドの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況に関して重要な不確実性が認められるかどうかを結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務書類の開示に注意を喚起すること、または重要な不確実性に関する財務書類の開示が適切でない場合は、財務書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。私たちの結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、サブ・ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務書類の表示方法が適切であるかどうかを評価すること、関連する注記を含めた全体としての財務書類の表示、構成および内容を検討し、財務書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

私たちは、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含むおよび監査上の重要な発見事項、および監査の基準で求められているその他の事項について、統治責任者に対して報告を行っている。

その他の事項

監査意見を含む本報告書は、私たちの契約書の条項に従ってサブ・ファンドのみを利用者として想定しており、クラス・ファンド以外に配布および利用されるべきものではない。私たちは、この監査意見を表明するにあたり、事前に書面にて明示的に同意されている場合を除き、その他の目的もしくは本報告書を提示されたその他の者または入手した者に対して責任を有しない。

プライスウォーターハウスクーパース

ケイマン諸島

2017年12月29日

注：この監査報告書の訳文は、英語で作成された原文監査報告書を翻訳したものです。情報、見解または意見のあらゆる解釈において、英語版の原文監査報告書がこの訳文に優先します。

[次へ](#)

Independent Auditor's Report

To Brown Brothers Harriman Trust Company (Cayman) Limited, solely in its capacity as trustee of MUGC GS Cayman Fund

Our opinion

In our opinion, the financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of GS Australia Hybrid Securities Fund (the "Sub-Trust"), a sub-trust of MUGC GS Cayman Fund, as at 30 September 2017, and its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with International Financial Reporting Standards.

What we have audited

The Sub-Trust's financial statements comprise:

- the statements of financial position as at 30 September 2017;
- the schedule of investments as at 30 September 2017;
- the statements of comprehensive income for the year then ended;
- the statements of changes in net assets attributable to holders of redeemable participating units for the year then ended;
- the statements of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the financial statements, which include a summary of significant accounting policies.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing (ISAs). Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Sub-Trust in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants' Code of Ethics for Professional Accountants (IESBA Code). We have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code.

Responsibilities of management for the financial statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with International Financial Reporting Standards, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, management is responsible for assessing the Sub-Trust's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Sub-Trust or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Sub-Trust's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.
- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Sub-Trust's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Sub-Trust to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Other Matter

This report, including the opinion, has been prepared for and only for the Sub-Trust in accordance with the terms of our engagement letter and for no other purpose. We do not, in giving this opinion, accept or assume responsibility for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

PricewaterhouseCoopers
Cayman Islands

29 December 2017

（ ）上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は本書提出代理人が別途保管している。